

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号
特表2002-515991
(P2002-515991A)

(43)公表日 平成14年5月28日 (2002.5.28)

(51)Int.Cl.
G 0 6 F 17/60

識別記号
2 2 8
2 3 4

F I
G 0 6 F 17/60

テマコード (参考)
2 2 8
2 3 4 A

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全110頁)

(21)出願番号 特願平9-522085
(86) (22)出願日 平成8年12月12日 (1996.12.12)
(85)翻訳文提出日 平成10年6月12日 (1998.6.12)
(86)国際出願番号 PCT/US96/19228
(87)国際公開番号 WO97/22073
(87)国際公開日 平成9年6月19日 (1997.6.19)
(31)優先権主張番号 60/008,538
(32)優先日 平成7年12月12日 (1995.12.12)
(33)優先権主張国 米国 (U.S.)
(31)優先権主張番号 08/758,770
(32)優先日 平成8年12月3日 (1996.12.3)
(33)優先権主張国 米国 (U.S.)

(71)出願人 シティバンク、エヌ、エイ。
アメリカ合衆国 10043 ニューヨーク州
ニューヨーク パーク アベニュー
399
(72)発明者 ウォーカー、ダーシー
アメリカ合衆国 60611 イリノイ州 シ
カゴ レイク ショア ドライブ 910
アパートメント 1019
(74)代理人 弁理士 中島 淳 (外2名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 信用貸し及び債務申請のオンライン審査及び承認を行うシステムと方法

(57)【要約】

リアルタイムで動作して金融機関によって申し出される商品及びサービスの申請を処理するオンラインコンピュータ化システムである。このシステムは信用貸し、債務の審査及び承認プロセスを自動化し、申請人(10)の信用貸しスコア(28)、金融情報及び金融機関との新規の及び既存の取引(52)に基づいて経歴の信用力の評価を実行し、信用貸し要件の初期基準を越えた申請人(10)に、所定限度申し出額で指定のクレジット商品を勧める。このシステムは、申請人(10)の信用調査所の経歴(30、32、34)及び自動化信用貸しスコアリング(28)を迅速に分析し、これらの結果をLBR(12)に送出する。このシステムは、要求された照会にしたがって、(信用調査所の経歴、信用貸しスコア、債務及び申請人の新規な又は既存の預金の体系的な評価に基づいて)申請人にアップフロント条件付き承認を供給することができる。本発明は、申請人に信用力があるが該申請人が要求していない他のサービス/商品を指定し、LBR(12)に伝達することもできる。LBR(12)は、単に要求されたもの以外に、パッケージ

FIG. 1A

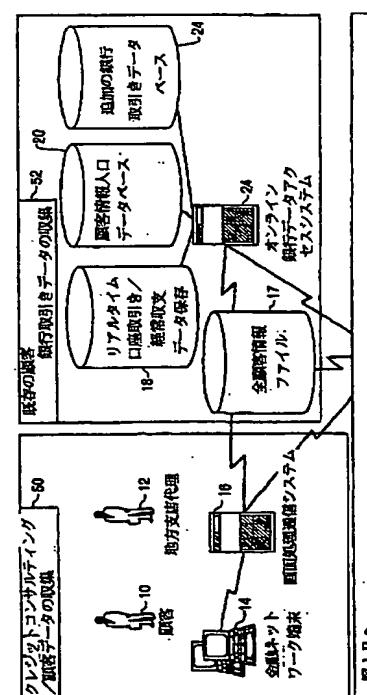


図1Bへ

【特許請求の範囲】

1. 金融機関によって申し出される商品又はサービスに対する申請人の申請の自動オンライン審査をリアルタイムで実行する方法であり、

a) データの第1のセットをデータ処理通信システムに入力するステップを有し、前記データは前記申請人によって提供される情報に関連し、

b) データの第2のセットを前記データ処理通信システムに入力するステップを有し、前記データの第2のセットは、前記申請人によって要求される商品又はサービスに関連し、

c) 前記第1のデータを使用してリアルタイムベースで前記申請人との関係プロファイルを特定するステップを有し、前記関係プロファイルは、前記申請人の金融機関に対する資産及び債務の額に基づく、

自動オンライン審査実行方法。

2. d) 前記関係プロファイルを表すカテゴリーを形成するステップを有し、

e) 前記カテゴリーを使用して商品プロファイル表からカテゴリーに基づいたプライシング方式を抽出するステップを有し、前記表は、金融機関によって申し出される商品又はサービスの価格に関する情報を含む、請求項1記載の方法。

3. f) 前記第1のデータ及び前記関係プロファイルを、予備審査基準に対して比較し、前記予備審査基準を満たすか否かを決定するステップを有し、前記予備審査基準は前記顧客の収入を含み、

g) 前記予備審査基準を満たさなかった申請人の申請をマニュアル審査に送るステップを有する、請求項2記載の方法。

4. d) 前記データの第1のセットに不正照会を実行するステップを有し、

e) 前記データの第1のセットを使用して少なくとも一つの信用調査所からクレジットレポートを収集し、前記クレジット報告を最低限度の災害／ポリシー基準に対して比較するステップを有する、請求項1記載の方法。

5. d) 社会保障データベースにアクセスし、第1のセットからの情報を使用して社会保障番号審査を実行するステップを有し、

e) 前記データの第1のセットを使用して信用調査所にアクセスするステッ

プを有し、

f) データの第1のセット及び第2のセットに対して最低限度の災害／ポリシー基準を適用するステップを有する、請求項1記載の方法。

6. f) 前記災害／ポリシー基準を満たさなかった申請人の申請をマニュアル審査に送るステップを有する、請求項4記載の方法。

7. e) 災害応答コードを前記データの第1のセットに割り当てるステップを有し、

f) 前記クレジット報告及び前記データの第1のセットに基づいて資金負担額を用意するステップを有し、

g) 前記資金負担額を資金負担表のパラメータと比較するステップを有する、請求項4記載の方法。

8. e) 資金負担コードを決定し、前記コードを前記申請人の申請に割り当て、スコアリング応答コードを前記申請人の申請に割り当てるステップを有し、

f) 前記スコアリング応答コードと、拒絶カットオフ値とを比較するステップを有する、請求項4記載の方法。

9. e) 前記申請人の申請のスコアと、承認カットオフ値とを比較するステップを含み、

f) 前記承認カットオフ値を満たさない申請人の申請をマニュアル審査に委託するステップを有する、請求項4記載の方法。

10. d) 信用貸し限度額を前記申請人に割り当てるステップを有し、

e) 要求されたローン額が商品維持ファイルの制限内であるかどうか決定するステップを有し、

f) 資金の支払いを前記申請人に承認するステップを有する、請求項1記載の方法。

11. 金融機関によって申し出される商品又はサービスに対する申請人による申請を処理するコンピュータシステムであって、以下のプロセスを実行するプログラミングを含み、前記プロセスは、

a) 所定の営業ポリシーによって申請を評価し、申請を所定のスコアリ

ングによってランク付けし、評価状態を地方支店代理に迅速に伝達し、

b) 特定の商品の要求に応じて、申請の信用貸しの最大許容額を地方支店代理に送出し、ここで、申請人が提供した債務及び信用調査所が提供した債務を含む、申請人の全ての公知の債務を加えた特定の商品に対する見積額は、格納された商品の特定のパラメータを越えず、

c) 地方支店代理に、申し出され受理された額に応じて要求された照会カテゴリーの体系的な識別手段を送出し、地方支店代理が要求された照会を完了する方法を選択することを可能とし、全ての要求された照会が完了する前に申請を予約することを防ぎ、

d) 信用を審査して申請人に要求された商品を提供する最高価格を生じさせる総残高額を決定する場合、申請人の預金全てを自動的に審査し、前記コンピュータは前記決定を実行するための各商品に対する複数の価格ポイントを含む一連の表を含み、

e) 申請の完了が後日任意の地方支店代理によって可能となるフォーマットで、システムに未完了な申請を保持し、地方支店代理に、未完了申請の自動的経年に基づいて未完了な申請の追跡を促進する、

コンピュータシステム。

12. f) 申請人の信用貸しの経歴の審査を実行し、申請人に要求支払預金口座型の取引を申し出るかどうかを決定する、請求項11記載のシステム。

13. 前記プログラミングは、

f) バンクカード申請のオンライン処理のためのバンクカード獲得プロセスへのリンクを提供するプロセスをさらに含む、請求項11記載のシステム。

14. 前記プログラミングは、

f) 信用貸しの資格を有する申請人を地方支店代理に通知するプロセスを有し、ここで信用貸しの資格を有する申請人は初期信用評価審査を通過した申請人である、請求項11記載のシステム。

15. 前記照会カテゴリーは、身分証明書、電話番号、職業及び所得からなる群から選択される少なくとも一つを含む、請求項11記載のシステム。

16. 前記照会カテゴリーは、申請人の返済能力、地位、担保及び信用に関連する申請人に関する情報を含む、請求項11記載のシステム。

17. 金融機関によって申し出される商品又はサービスの申請を処理する装置であって、

a) 複数の第1のデータリンクを含む処理システムを含み、前記処理システムは、複数の第1のデータリンクのうちの一つを介して金融機関の外部の複数のオンライン信用調査所にアクセスし、第1の複数のデータリンクのうちの一つを介して金融機関の外部のバンクカード処理システムにアクセスし、前記複数の第1のデータリンクのうちの一つを介して、既存のバンクカードに関する情報を格納する、金融機関の外部のバンクカードデータアクセスシステムにアクセスし、処理中の信用貸し申請、完了し照会した信用貸し申請、ペンドイング中の信用貸しの申し出を格納し、

b) フロントエンド処理通信システムを含み、該フロントエンド処理通信システムは、申請人に関するデータを入力するための端末を含み、前記複数の第1のデータリンクのうちの一つを介して前記信用貸し処理システムとリンクし、第1の専用データリンクを有し、

c) オンラインデータアクセスシステムを含み、該オンラインデータアクセスシステムは、前記複数の第1のデータリンクのうちの一つを介して前記処理システムにリンクし、前記第1の専用データリンクを介して前記フロントエンド処理通信システムにリンクし、金融機関の全ての申請人に関する情報、口座情報、申請人人口情報及び金融取引に関する情報を格納する複数のデータベースを含み、

d) 決定申請処理システムを含み、該決定申請処理システムは、前記複数の第1のデータリンクのうちの一つを介して前記処理システムにリンクし、バンクカード処理システムにアクセスするための第2の専用データリンクを含み、装置による申請の拒絶の際に信用貸し申請をマニュアル審査に送る、

申請処理装置。

18. 前記処理システムは、所定の信用貸しポリシーにしたがって申請を評価し

、所定のスコアリングによって申請をランク付けし、信用評価状態を、地方支店代理に端末で表示するためにフロントエンド処理通信システムに即座に伝達する、請求項17記載の装置。

19. 前記処理システムは、地方支店代理に端末で表示するためのフロントエンド処理システムに、特定の商品の要求に応じた申請に対する信用貸しの最大許容可能な額を送出し、ここで申請人の全ての公知の債務と特定の商品に対する見積もり支払い額は、指定された抑制資金負担までの格納された商品指定パラメータを越えない、請求項17記載の装置。

20. 前記処理システムは、地方支店代理に端末で表示するためのフロントエンド処理システムに、申し出され承認された額に応じて要求される照会カテゴリーの体系的な識別手段を送出し、地方支店代理が要求された照会を完了する方法を選択することができ、全ての要求された照会が完了する前に申請の予約をすることを防ぐことができる、請求項17記載の装置。

21. 前記要求された照会は、身分証明書、電話番号、職業及び所得から成る群から選択された少なくとも一つを含む請求項20記載の装置。

22. 前記要求された照会は、信用貸しの申請人の返済能力、地位及び担保及び信用に関する信用貸し申請人に関する情報を含む、請求項20記載の装置。

23. 前記処理システムは、既存の及び新規に成立した口座を含む申請人の口座の全てを自動的に審査し、申請を審査して申請人に要求された商品を提供する最高価格を生じさせる総残高額を決定する場合、及び前記審査中、複数の価格ポイントを含む一連の表にアクセスして前記決定を実行し、前記フロントエンド処理通信システムに、前記端末で地方支店代理に表示するための前記最高価格を送出する、請求項19記載の装置。

24. 前記処理システムは、未完了な申請を、後日に申請の完了を可能とするフォーマットで維持し、前記未完了な申請を、前記フロントエンド処理通信システムからの要求に応じて、前記フロントエンド処理通信シス

テムに送出する、請求項19記載の装置。

25. 前記処理システムは、未完了な申請の自動的経時に応じて未完了な申請の

追跡を促進するためのプロンプトを、端末で地方支店代理に表示するためのフロントエンド処理通信システムに送出する、請求項24記載の装置。

【発明の詳細な説明】

信用貸し及び債務申請のオンライン審査及び承認を行うシステムと方法

発明の分野

本発明は概して、信用貸し及び債務申請の審査及び承認を行うシステムと方法に関し、より詳細には、信用貸し及び債務申請の自動リアルタイムオンライン審査を行うシステムと方法に関する。

発明の背景

信用貸し（クレジット）又は債務商品の申請プロセスは、通常申請人が信用貸し又は債務商品のどちらかを請求することにより開始する；信用貸し要請の場合には、通常申請人は信用貸しを単独の信用商品に基づいて申請する。本明細書中では、申請人は既存の顧客又は顧客になりそうな人のどちらでもよいし、一個人、複数の個人、又は法人、合名会社、団体等の企業実体でもよい。どちらであろうとも、申請人とは単に信用貸し及び債務商品を求めて金融機関に申請書を提出する個人又は企業実体のことを指す。申請人が金融機関が提供する何かの信用貸し又は債務商品を申請するために金融機関を訪れると、地方支店代理（LBR）は申請人に申請書に記入するよう要請し、それからその申込書をバックオフィス（事務処理担当部）に通常転送し、そこでその申込書は審査され、要請されている信用貸しを提供するか否か、又は要請されている債務口座を開くか否かを決定する。

大半の金融機関は、申請人が要請する特定の信用商品に対する信用力があるか否かを決定するためにいくつかの基準を適用し、金融機関の中には、要求預金口座（銀行債務）を開くためのどの要請が認められるべきかを決定するためのいくつかの基準を適用するものもある。通常各商品の基準の区別は損失の危険性と許容レベルに基づく。

あいにく全体の内の大部分が、あれやこれやの理由でこの初期審査基準で失

格となる。更に悪いことには、LBRは信用力を有する申請人をそうでない申請人から即座には区別できない。このことによりLBRはある申請人にかなりの時間を費やさなければならず、結局それらの申請人がその金融機関の基準に適合し

ていないと決定するだけである。このことは貸し出しプロセスを非能率にする；信用貸し又は債務商品に最も値する顧客は、LBRが、中にはどの信用貸し又は債務商品にも資格がない可能性がある申請人がいるのに全ての申請人に長時間の販売時間を費やす間、所望する商品を得るためにより長く待たなくてはならない。これらの非能率のせいで顧客サービスは不満足なものになり、全ての申請人に、より高額の手数料を払わせることになる。

従って本発明は信用貸しおよび債務審査を行う方法とシステムを開発する際の問題に関し、これらは：（1）信用力を有する申請人を識別、又は申請している特定の商品に対する信用力を申請人がおそらく有していないことの指摘を申請時にただちにLBRに示す（従って販売セッション全てを行う必要を省く）；（2）系統的な照会要件を提供する；（3）金融機関のために債務審査（要求預金審査）を行う；（4）指定商品には階層により金利の決定を行う；（5）バンクカード商品を供給するためのインターフェイスを提供する；（6）最大資金負担申し出（提供）論理を可能にする；そして（7）申請ペンディング機能性を提供する。

発明の概要

本発明はユーザーフレンドリー（使い易い）オンラインコンピューター化システムを提供することによってこの問題を解決し、このシステムは金融機関が提供する商品やサービスに対する申請の処理を能率化し、審査及び承認プロセスにおける多くの工程を自動化し、申請人の信用（クレジット）スコア、財務情報、及び該金融機関との新規の又は既存の取引関係があればそれらに基づく過去の信用力比較を行い、信用約因指定信用商品のための初期基準を超える申請人に所定の信用限定申し出額を推薦し、必要な運用（信用貸し／債務）ポリシーが適切に完了していることを確実にする。

本発明によると、特に信用貸し要請のために、このシステムは申請人の信用

調査所経歴、自動化された信用スコア、クレジット（信用貸し）・ポリシー、及び申請人の該金融機関との新規の又は既存の取り引き関係があればそれらを即座に分析し、この結果を要約した書式でLBRに提供する。この機能のおかげでL

BRは必要な照会を条件として、アップフロント(前払い)自動条件付承認を提供する能力を得ることができる。

本発明のこのシステムと方法は、要請される商品に基づいて金融機関が信用貸し及び／又は債務商品を提供したい、又はそれ以上のサービスや別の信用貸し及び／又は債務商品を提供したい申請人を識別する能力を提供することによって、貸方の時間のロスという問題を軽減する。例えば、申請人が請求していない様々な他の商品に対する信用力を潜在的に有する申請人を識別することによって、LB-Rはより魅力的なパッケージ商品を申請人に提供し、サービスを高め、提供されている金利を有利なものにする可能性がある。この機能のおかげでLB-Rは、申請人が要請したものに加えて全範囲のサービスと便宜を該金融機関が提供することができる申請人に、努力の的を絞ることができる。

本発明のシステム及び方法を導入すると得られるもう一つの利点は、信用要件特定商品のための初期基準を超える申請人に所定の信用限度申し出額を推薦できることである。

本発明のシステム及び方法を導入すると得られるもう一つの利点は、信用貸しを要請している申請人に、見積り支払額が商品規格パラメータを超えない信用貸しやローン額の最大許容限度を提供できることである。従って、本発明のシステムと方法は、申請人の信用貸し要請に関するアップセルやカウンター・オファーを生じさせる自動応答処理に組み込む能力を提供する。本発明の結果、これまで可能ではなかったこの能力は現在地方支店で利用できる。

本発明のシステム及び方法を導入すると得られるもう一つの利点は、金融機関が以前もしかすると別のLB-Rで開始された申請の処理を継続できることである。以前は、各信用貸し又は債務の申請を新しくやり直していた。例えば本発明以前は、申請人が信用貸し又は債務商品を申請するため金融機関を訪れ、その申請人が最初の情報を提供したが何かの理由で(時間の制約のため等)離れてしまうと、完了しなかった申請は廃棄され、その破棄された申請と共にLB-R

BRの時間も無駄になってしまった。時間は今日の競争的環境において価値のある商品であるのに。本発明の結果、どのLB-Rも自分の支店又は他のどんなLB-R

BRで始められた以前の申請の処理を継続でき、従って申請人が以前供給したデータを全て繰り返さなければならないことを省くだけではなく、前に費やした時間を利用することができる。

伝統的に、信用貸し申請やそれに続く条件付承認が完全に審査された後、照会要件が発生又は生成される。本発明を導入すると得られるもう一つの利点は、提供される額と受領される額に基づき系統的になされる照会範疇がフロントエンドプロセス中で詳しく述べられ、LBRのためにあらゆるそして全ての照会要件を確認し、それにより申請人が利用できる情報（例えば身分証明、電話、職業、収入等）を有していれば初期セッション中に必要な照会を遂行することができる。このことで照会要件に従っていることを確実にすることの助けになり、不正支給の可能性を避けることができるだけでなく、支店と申請人との間でよく起こる「書類の追跡」を省くことができる。

本発明は、該金融機関が必要とするクレジット・ポリシーが適切に完了していることを保証し、ポートフォリオ（運用資産）に対する危険性を制限すると共に、消費者小売り（個人客向け）支店が資格のある申請人の信用貸し要請（例えば無担保及び不動産担保）に対し即座の信用貸し評価応答（条件付承認、必要な照会をペンドィングするアップセル及び／又はカウンター・オファー）を提供できる迅速な方法を提供する。

更に本発明のもう一つの利点は、必要な照会を系統的に完了することで、信用貸し要請とそれに続く資金の支給を現場で承認することができることである。それに加えて、必要な照会をLBRに系統的に提出することによって、申請が完了する前にどの指定された照会が必要なのかをLBRが継続的に算出及び再算出する必要がなくなり、時間と文書業務を大幅に削減できる。

本発明の導入がもたらすもう一つの利点は、階層による取引先向けプライシングである。階層による取引先向けプライシングは、信用貸しを要請している新規の又は既存の顧客に、該顧客の該金融機関との全取引関係（即ち、預金残高）に基づく最低貸し出し（ローン）金利を提供する。適切な金利を選択する

のがオートメーション化したこと、金利に多くの選択肢があることや顧客の金

融機関との取引関係が深く複雑なことにより込み入っている環境で正しい金利を選ぶという問題を解決する。

本発明を導入して得られる利点によると、本発明は申請人の社会保障番号を系統的に分析し、申請人の当座預金口座と信用調査所の経歴を審査し、申請人に当座預金（要求払預金）型の取引関係を提供するべきか否かを決定する。この評価は系統的なものであり、金融機関に不正による損失率を押さえる可能性と同時に、当座預金の候補者となる可能性がある人を篩い分ける能率的な方法である。

更に、本発明を導入して得られる別の利点は、バンクカード取得プロセスを、支店で始められたバンクカード申請のオンライン処理と系統的に連結させることである。

本発明の前述の目的は本システム及び方法で達成されうるものを例示しており、前述の目的は完全ではなく他に可能な目的を制約するものではない。従って、本発明のこれらの及び他の目的は、通常の技術を有する当業者に明らかになりうる変形を考慮して修正されて示される実施の形態として、本明細書中に述べられた説明から明らかになるだろうし、本発明を実行することから知ることができる。本発明は明細書中で示され説明される新規なシステム、方法、装置、及びそれらの組み合わせにある。

本発明の前述の及び他の目的及び利点は次の説明から明らかになるが、そこでは伴う図面が参照され、その図面は参考文献の一部を形成し、図面中にはそれに限られてはいないが例示として、本発明の好適な実施の形態が示される。

図面の説明

図1は本発明のシステムと方法のブロック図である。

図2は本発明のシステムと方法で用いられる信用貸し申請信用状態（ステータス）コード、信用スコア応答コード、及び信用貸し決定メッセージを示す図である。

図3は本発明のシステムと方法により用いられる信用商品定義保守スクリー

ンを示す図である。

図4A乃至Cはそれぞれ本発明のシステムと方法により用いられる信用決定処

理データ要素を示す図である。

図5は本発明のシステムと方法で用いられる信用商品定義保守スクリーンを示す図である。

図6A乃至Eはそれぞれ本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理データ要素を示す図である。

図7は本発明のシステムと方法で用いられる信用商品定義保守スクリーンを示す図である。

図8は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理データ要素を示す図である。

図9は本発明のシステムと方法で用いられる信用商品決定保守スクリーンを示す図である。

図10A乃至Hはそれぞれ本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理データ要素を示す図である。

図11は本発明のシステムと方法で用いられる取引先向けプライシングプロファイルマトリックスを示す図である。

図12は本発明のシステムと方法で用いられる取引関係基準コード及び連結規則を示す図である。

図13A乃至Bはそれぞれ本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理データ要素を示す図である。

図14は本発明のシステムと方法で用いられる商品プロファイル保守スクリーンを示す図である。

図15は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理データ要素を示す図である。

図16は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理照会要件を示す図である。

図17A乃至Eはそれぞれ本発明のシステムと方法で用いられる信用決定処理データ要素を示す図である。

図18は本発明のシステムと方法で用いられる申請人製品及び保険情報スクリ

ーンを示す図である。

図19は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定評価データ要素を示す図である。

図20は本発明のシステムと方法で用いられる申請人収入情報スクリーンを示す図である。

図21は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定評価データ要素スクリーンを示す図である。

図22は本発明のシステムと方法で用いられる信用商品決定定義保守スクリーンを示す図である。

図23は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定及び信用資格授与プロセスのためのデータ要素を示す図である。

図24は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定及び信用資格授与プロセスのためのデータ要素を示す図である。

図25は本発明のシステムと方法により用いられる信用資格授与パネルを示す図である。

図26乃至29はそれぞれ本発明のシステムと方法で用いられる信用決定及び信用資格授与プロセスのためのデータ要素を示す図である。

図30は本発明のシステムと方法で用いられる申請人情報パネルを示す図である。

図31乃至33は本発明のシステムと方法で用いられる信用決定及び信用資格オファー・プロセスのためのデータ要素を示す図である。

図34は本発明のシステムと方法において用いられる計算式を示す図である。

図35乃至38はそれぞれ本発明のシステムと方法で用いられる最大資金負担申し出計算を示す図である。

図39は本発明のシステムと方法で用いられる申請工程状態優先順位表を示す図である。

図40は本発明のシステムと方法のためのシステム初期設定ダイアグラムを示す図である。

図41は本発明のシステムと方法で用いられる審査前及び災害審査手順を示す図である。

図42は本発明のシステムと方法で用いられる第一申請スコア評価を示す図である。

図43は本発明のシステムと方法によるバンクカード申請のための処理を示す図である。

図44は本発明のシステムと方法で用いられる信用限度及び最大資金負担申し出割り当てのダイアグラムを示す図である。

図45は本発明のシステムと方法で用いられる付加的基準評価を示す図である。

。

図46は本発明のシステムと方法により生成される申請人要求照合及び自動応答生成を示す図である。

図47は本発明のシステムと方法による担保付き信用商品の特別な取り扱いを示す図である。

図48は本発明のシステムと方法による申請人申し出提供及び応答評価プロセスを示す図である。

図49は本発明のシステムと方法によるより低額の信用額プロセスのためのカウンター・オファー・ダウンセル・オファーを示す図である。

図50は本発明のシステムと方法によるアップセル・オファー又はより高額の信用オファープロセスを示す図である。

図51は本発明のシステムと方法による終了共通プロセスを示す図である。

詳細な説明

本発明のシステムと方法（図1）は、リアルタイムでの申請のオンライン処理を提供し、それにより条件付で承認し、必要な照会をペンドィングする。多くの貸し手はオンラインシステムを介して申請を処理するが、大半は申請人の信用調査所経歴（ブロック28、30、32、及び34）の分析結果を即時に審査するフロントエンド処理システム（ブロック14及び16）のシステム能力を提供しない。本発明のシステムと方法は、新規又は既存の顧客の取引関係

(ブロック18、20、及び22)を独自に処理し、信用決定要請に係わらせる。この機能は、必要な照会を前提とした(信用調査所経歴、信用スコア、資金負担、信用ポリシー及び顧客の金融機関との取引関係の系統的評価に基づく)アップフロント条件付承認を新規又は既存の顧客(ブロック10)に提供する能力を可能にする。

本発明は商業的に利用可能なクレジット処理システムACPS(ブロック26)と結びつく。

本発明による処理は信用貸し及び債務申請／承認プロセスを能率化し、その結果、より適時に決定できる。このプロセスは、従来書類に集約されていた信用貸し／債務申請及び承認プロセスにおける多くの工程を自動化することにより、支店の能率と生産性を高める。

信用貸し申請処理に加えて、この導入は申請人の信用調査所情報、金融機関、新規又は既存の顧客の金融機関との取引関係のいづれかがもしあればそれらに基づいて、信用貸し以外の申請処理(要求払口座を開くなど)のために経歴信用力評価も行う。これらの評価は、申請人10が信用貸しの資格があるということを示す結果となる決定をすることがある。これらの指摘は、LBR12にどの申請人が信用承認のための初期基準を超えるかを示し、より魅力的な信用商品の機会を与えるために申請人を識別するだけでなく、所定の信用限度申し出額を有する特定の信用商品を勧める場合がある。

解決する実務問題

クレジット応答

本発明は、消費者窓口支店が信用評価応答(条件付承認、アップセル及び／又は必要な照会をペンドィングするカウンター・オファー)を適格な(資格のある)申請人のクレジット要求(例えば無担保の財産及び担保付不動産)に即座に提供することができるとともに、金融機関が必要とするクレジットポリシーが適切に完了して運用資産(ポートフォリオ)に対するリスクを潜在的に制限するような、迅速な方法を提供する。

全ての確立された商品プログラムの必要条件(画面(フロントエンド)審査、

災害審査、クレジットスコア、資金負担）、及び新しい又は既存の顧客の預金残高の考察は、数秒のうちに体系的に完了してランク（A、B、C、D）付けされる。これにより、LBR12は信用評価状況（承認推奨、条件付承認、アップセル、カウンターオファー、拒絶推奨）を申請人10に即座に送ることが可能となる。A、B、C、Dのステータス（状況）ランキングはLBR12に対して販売セッションの間に取るべき方向を示す（即ち、体系的に提供されたランキングは高い信用リスクと低い信用リスクを識別する）。迅速なバックオフィス処理のために（ブロック44）、これらのランキングはどのクレジット要求を即時要求のために処理するかも記述し、即座に予約するか又は即座に拒絶行動をとる。これにより、LBR12は金融機関にとって非常に利益のある申請人を即座に識別することができる。

本発明のシステム及び方法において使用される様々な応答に関連するアクションを詳細に記載した以下のチャートを参照する。

応答	条件
A	承認推奨 LBRは既に必要な照会を完了しており、申請人の合意をもって、クレジット要求を受領し、指定された商品の予約システム（即ちサービスシステムや支払システム）へのインターフェースを体系的に開始する。 条件付承認／カウンター・オファー LBRは全ての必要な照会（例えば身分証明、電話番号、職業、収入等）を完了しなければならない。必要な照会を完了すると、申請人の合意をもって、LBRはクレジット要求を“受領”し、（指定された商品のための）予約システムへのインターフェースを体系的に開始する。
B	拒絶推奨 システムは、（1）申請人が立証されていない或いは非居住者在留外国人（NRA）である、又は（2）申請人のクレジットが制限されている又は不十分である、又は（3）申請人が信用調査所問題（信用を失うような取り引き）及び高額な債務残高を抱えていることを認識した。これら全ての場合、LBRはバックオフィスを即時要求とコンタクトさせる。
C	拒絶推奨
D	拒絶推奨

商品プロファイル要件の表は、1つの領域の中の商品タイプによって、信用評価処理（例えば画面上審査、災害審査、クレジットスコア、資金負担及び債務残高）のパラメータを詳細に表わす。これらのパラメータは、申請が画面上の処理システム（ブロック14及び16）を介して送信したとき又はACAPS26に入れられたときに、体系的に評価される。

以前確立された承認基準の評価は、2つのセグメント（即ち2つのサブコード；クレジット決定及び銀行債務決定）に分割される。リスク評価要素（例えば画面上の審査、災害審査、クレジットスコア、及び資金負担）の中で、様々な条件には特定のA, B, C, Dの応答コードランキングが割り当てられる。クレジット決定を考慮中に、全ての要素のうちの最低（BはAより悪く、CはBより悪い等） α ランキングがクレジット決定サブコードとして選択される。クレジット決定サブコード及び債務決定サブコードを比較し、応答コードを決定するために2つのサブコードのうち良いほう（AはBより良く、BはCより良いなど）が選択され、画面（ブロック14及び16）を介してLBR12に逆送される。評価及び転送には平均してほんの数秒しかかかりず、毎日使用可能である。これにより、LBR12はほとんど瞬時に（現場で）申請人のクレジット要求に応答することが可能となる。無担保商品（例えば分割ローン）の場合、支店でクレジット要求の交渉を済ませる能力はまた、最初のセッションの間に支店で要求を満たす機会をLBRに与える。

本発明の応答ロジックは地域及び商品に特定的であり、地域的なポートフォリオ条件の変化や経済の変化等に対応して許容可能な信用リスクの公開を行うために適切に調整される柔軟な信用評価基準が可能になる。本明細書に使用する「ロケーション」は特定の地域（即ち州等）をさす。

最大資金負担の申し出

最大資金負担の申し出は、クレジット（リボルビング又はクローズド・エンド）を要求する申請人にクレジット額又はローン額の最高限度額を提供する。要求された商品に対する申請人の予測支払いは、全ての債務要求支払いに加え

て（賃借代又は抵当権支払い、申請人が申告した債務、及び信用調査所が提示し

た支払を含む）、最大で45%等の指定抑制資金負担までの商品指定パラメータ（限度額割り当て表）を超えないようにする。この結果のアップセル又はカウンター・オファーは、申請人のクレジット要求に関するので、本発明の応答処理の中に取り入れられる。従って、このセッションの中で申請人10と話し合うためにLBR（ブロック12）で使用することができる。

最大資金負担の申し出は、申請人のクレジット要求が指定額（ロケーション及び商品によって異なる）を超えたときに生じる。ACAPS26は以下の要素を体系的に評価した後、以下の要素を評価した後にアップセルするかカウンター・オファーするかを決める。

要求されたクレジット	1) 申請人が要求する金額 2) 適格な最大額（申請人が指定の金額を指定するのではなく、申請人はその申請人に適格とされる最大額を要求する） 3) 商品の最大額（Product Maximum）
最大資金負担の申し出	月額支払いに関連する最大ローン又はドル限度額を、申請人の既存の債務及び賃借料又は抵当借入金の支払のための月額支払いに加算し、顧客の月収で割って、商品パラメータに指定された資金負担率（45%等）を生成する。
限度額の割り当て	体系的な限度額割り当て表

クレジット要求が送信されると、申請人の信用度、月収及び月々の債務要求の支払（新しく要求された債務に関連する月額支払い予定額を含む）が体系的に評価され、LBR12及び申請人10に、その商品プログラムが審査判断を行う前に許す最大開示知識が提供される。このプロセスは主に、抵当借入金支払いを含む毎月の信用調査所情報を使用し、申請人10が提供する情報がなくても最大資金負担の申し出ができる。結局、本発明のプロセスは、信用評価／処理時間の削減及び単位コスト処理の実質的な低減（即ち65%の減少）を提供し、且つ営業会話における上品さ、及び許可及び拒絶の迅速な（対人又は電話による応答における）判断を提供する。

システム照会

システム照会は、申し出され且つ許可された金額に基づいて必要な照会分類（

商品プログラム) の体系的な識別を LBR12 に提供し、この識別は画面上に表示される (ブロック 14 及び 16)。画面はピックリスト形式で必要な照会を提供し、LBR12 が必要な照会を完了する方法を選択できるようにし、次にこれを ACAPS26 に転送する。このシステムにより、LBR は、申請人に指示されたときに、申し出が行われた後いつでも申し出限度額又はローン金額を許可することが可能となる。こうして、申請、金融機関の決定、申請人への申し出、申し出の受け入れ、及び場合によっては資金の提供や必要な照会のペンドィングを含む、申請サイクルを完了する。しかし、満たされない照会要件がある場合、システムは続く新しい口座開設機能 (即ち予約) が自動的に行われるのを阻止する。システムは、後続の新しい口座開設機能を自動的に行わせるためには、全ての照会要件が満たされてた後で “受け入れ” 処理を行うことを必要とし、これによって照会要件を遵守し、不正な支給を潜在的に避ける。

必要な照会を体系的に完了することによって、クレジット要求のその場での受け入れ、及びその後の例えば分割ローン等の指定商品に対する資金提供が可能になる。ACAPS26 システムは必要な照会プロファイル (図 16 ~ 図 17E) を各製品分類に組み込む。これらのプロファイルはそれぞれ、要求額に基づいてどのタイプの照会が必要かを示し、最終的には申請人 10 によってこの額が受け入れられる。必要な照会を体系的に表示することによって、申請が完了する前にどの指定の照会が必要かを LBR12 が常に計算及び再計算を行う必要がなくなる。必要な照会タイプを ACAPS26 が自動的に表示するのに加え、このシステムはまた、画面上の処理システム (ブロック 14 及び 16) には必要な照会タイプのリストも提供し、この照会は照会要件を満たすように実行される。このリストは必要な照会選択肢のピックリストに変換され、必要な照会手順を LBR12 が迅速に完了することが簡単になる。

ACAP26 は、領域及び商品によってテーブル駆動される照会要件を維持し、これらの要件は指定された申し出及び受け入れ信用金額によってどのタイ

プの照会 (例えば身分証明 ID、電話番号、職業、収入など) が必要であるかを適格に識別し、その後で、システムはその信用の申請を受け入れることができる

。商品タイプによって差異化することにより、A C A P S 2 6は、支店又はバックオフィスが作成した要求のため及び異なる商品タイプ（例えば無担保／担保付不動産）のために適切な照会要件を確立することができる。支店の画面システム（ブロック14及び16）は身分証明照会を処理させるが、バックオフィスの要求（ブロック44）は異なる方法で身分証明照会を必要とする。

階層による取り引き（関係）プライシング

処理に関わる多くのシステム（ブロック52）のオンラインによるリアルタイムの統合を介して、申請セッションの間にその顧客の全ての既存口座が体系的且つ自動的に審査され、総残高が決定され、要求された信用商品に対してその顧客10に申し出される最も良い金額が提示される。金額には固定金利及び様々な金利（例えば優遇貸出金利+証拠金等のインデックスレート）価格決定されたローンタイプの両方の処理を含む。

階層による取り引き価格決定（プライシング）により、申請人の金融機関との総取り引き（即ち預金残高）に基づいて、ローン申請人10（即ちこの場合は新規の又は既存の顧客）に最低貸出金利を提供する。また、この価格決定により、金融機関の従業員は、その金融機関とのその申請人の取り引きを考慮してそのローンタイプの適正な利率を提供する。本発明に従って、システムは自動的に申請人の既存の口座及び新しく預けられた資金を調査する。適切な利率選択の自動化により、利率選択肢の多さ及び申請人の既存又は新しく確立されたその金融機間との取り引きの深さ及び複雑さによって複雑化した状況において正確な利率を選択する問題が解決される。1つのローン商品のタイプ（無担保の極度貸付枠等）の範囲内でも、申請人10にクオートされる利率が4つもある。複数の商品にわたると、数十個の価格ポイントがあり、LBR12及び申請人10が簡単且つ正確に覚えるには多すぎる。更に、価格ポイントは、その金融機関に預けている総預金額（この預金額は複数の口座に入っている個々の残高の合計である）を含む幾つかの信用性要因から決められる。

申請書処理システムにおける一連の表（A C A P S 2 6）は、複数の価格（プライス）ポイントを有する各商品毎の価格ポイントを含む。またこの表は、特徴

の名前（残高等）、ブレークポイント（\$1,500未満、\$1,500又は\$1,500より多い等）、及び最終的な価格も提供する。A C A P 2 6 の中の他のテーブル値は、自動価格決定ルーチンが使用されるべきか否かを決定する。ルーチンが使用されると、A C A P S 2 6 は他のバンクシステム（ブロック52）を呼び出し、このシステムはその顧客の全ての残高を総合して総合残高を計算し、価格決定表と共にこの総合残高を使用してその申請人10に申し出る金額を決定する。このようにして決定された価格は、他のバンクシステムに一貫して流れ、最終的に新しいローンを回避する。

画面上のペンドィングプロセス

本発明の画面上のペンドィングプロセスは、開始されたがある理由または他の理由のために完了することができない申請書提出セッションの問題に解決策を提供する。例えば、申請人が重要な情報を落としたり、申請人（彼／彼女）がもうそのセッションを（時間がないため等の理由により）続けたくないときを決める場合もある。本発明ができる前は、申請を開始した労力は無駄になっていた（廃棄されていた）。申請人10が戻ってきたときにはこのプロセスを最初から始める必要があった。本発明のペンドィングプロセスは、申請が完了していないことが分かった場合に入力されたあらゆる情報を格納する手段を生成する。申請人10がいて申請を完了する準備が整ったときに、その申請書を完了させるために、格納されたデータに簡単にアクセスすることができる。

更に、容易に使用できるファイル及びプロセスにより、格納ができ、及び部分的に完了した申請書からデータを再利用することが可能となる。L B R 1 2 が未完成の申請書を呼び出してフォローアップするのを手助けする、ペンドィングプロセスの周囲の更なるプロセスが構築される。ペンドィング処理中の未完成の申請書は、適切なフォローアップ（営業又は規則に従って）を保証するために保持される。

本発明のペンドィングプロセスにより、L B R 1 2 はメニューオプション“格納してファイルをペンドィングする（Save to Pending File）”（このセッションの間に入力された全てのデータを保存する）をハイライトして選択するだけによくなる。この時点で、データは画面上の環境（ブロック14及び16）の中に

格納され、その申請書が将来完了され得る時まで待つ。申請人10が戻ってきたときに、その金融機関の中のどのLBR12でも、メニューオプション“ペンドィング／条件付き（Pending/Conditional）”を介して未完成の申請書を簡単に呼び出し、あらゆる欠けていた情報を加えてその申請書を申請書処理システム（ACAPS26）に送信することができる。

要求支払預金口座（DDA）

金融機関は、申請人の信用調査所（ブロック28, 30, 32及び34）の経歴を体系的に調査して彼らに当座預金（要求支払預金口座）型の取り引きを申し出るか否かを決定する。この評価は完全に体系的であり、潜在的な当座預金の候補を審査する一方、不正な損害率を低く抑える効率的な方法を金融機関に与える。

当座預金（要求支払預金口座）のための全ての要求は、体系的な社会保障番号検索、組み合わせされた金融機関のデータベース情報検索、及び災害審査を介して提出される。これにより、即座に信用力の評価が可能になる。この特徴により、LBRが無効にするように適切に権利が与えられない限り、社会保障番号が一致しない又は存在しない社会保障番号である、又は信用力を傷つけるような行い、などの理由によりLBR12が当座預金を申し出るべきではない申請人10を識別する、効率的な方法をLBR12に提供する。

画面上のシステムに現れるメッセージ（ブロック14及び16）は、信用評価の結果を示す。適格な申請の場合は、LBR12は即座に当座預金の開設を許可する。不適格な申請の場合は、体系的な信用基準に基づいて、適切な表示又は拒絶選択を有する無効画面（指定変更）がLBR12に提供される。

ACAPS／バンクカード処理

本発明のこの特徴は、支店がもとになっているバンクカード申請のオンライン処理のためのバンクカード取得プロセス（ブロック40）への体系的なリンクを提供する。先述のクレジット申請処理のように、支店が受けたバンクカード申請は、最大資金負担申し出及び照会要件と共に、信用応答を反映する応答コード（A, B, C, D）を必要とする。

このプロセスは、バンクカード取得システム（ブロック40）と体系的にインターフェースし、クレジット応答（ACAPS26上で行われる標準的な災害審査及び自動化された信用スコア、及びバンクカードシステム40上で行われる不正審査、重複氏名の処理、及び既存のカードメンバー審査を含む）に対してほぼ瞬時に応答する。システム的な処理の結果、申請要求の回転時間及びクレジットカードの納入をより速くすることが可能となり、また、以前の紙を大量に使用するバンクカード申請処理を無くすることにより大きな利益が可能となる。

体系的処理は、この処理が、既存のカードメンバー、不正、SSN検索、及び重複申請のためのバンクカード取得システム（ブロック40）に属する場合でも、又はバンクカードの信用評価プロセス（例えば災害審査、クレジットスコア等）を有するACAPS26に属する場合でも、必要な信用評価処理を介して支店が元となる全てのバンクカード申請を管理する。肯定的な応答が生成される場合、支店に戻されるメッセージは条件付承認（特定額のクレジットの“受け入れ”によって満たされる）を含み、この承認は次に、予約のためにバンクカードサービスシステム（ブロック42、62及び40）に体系的に運ばれる。拒絶決定は、断りのレターを発行するためにバンクカード取得システム40に適切な処理情報を送る。またこのシステムは、バックオフィス（ブロック44）がアピール状況に介在することを可能とする。

クレジット評価

この特徴により、（フラッグ／ライト／申し出額のいずれかによって）どの申請人10が最初の信用評価審査（例えば災害審査、クレジットスコア）を超えるかをLBR12が識別できるような“信用評価”的な処理を提供する。これにより、最初の体系的な評価が、申請人10には信用力があるがまだ

必要な照合に委ねられていることを示したため、LBR12が営業力を相互売り込みの追加的な信用商品に最大限そそぐるようにする。この体系的な“信用評価”プロセスは、申請人が信用商品を申し込んでいない場合であっても自動的に発生する。従って、預金口座を開設するために金融機関にやってきた申請人は、LBRが信用評価見込みを識別できるように、“信用評価”プロセスによって評価

される。

画面上の処理システムへのA C A P Sリンクを介して体系的信用評価は“信用力のある”申請人を即座に識別し、これによりL B R 1 2は最初の信用基準を超過したこれらの申請人10を即座に識別することができる。こうしてL B R 1 2はこれらの申請人への相互売り込みの機会を最大限に活用することができる。

信用評価基準（例えば災害審査、クレジットスコア等）は申請人の信用力を評価し、次に画面システムに“信用評価”のマーカーを表示するかどうかを決める。このマーカーは“信用評価”金額を示してもよいし、又は信用商品に関する延長販売セッションが必要かどうかを示す最初の信用基準審査を申請人10が超過したこととL B R 1 2に単に示してもよい。また、システムは申請セッションの間に申請人から得た情報の要素に基づいて、及びマネジメントによって選択された商品を含む表に基づいて、特定商品を推奨する。このシステムは、申請人10が“信用評価”としての申し出金額よりも多くのクレジットを望んだ場合、“信用評価”申し出を“クレジット要求”に変換させるように設計された。“クレジット要求”に再ラベル付けするシステム的な切り替えは、標準クレジット要求に関連する全ての必要な信用評価基準（例えば災害審査、クレジットスコア、資金負担等）、及び申請人10がクレジット要求基準に合わない場合は、拒絶行為理由の適切な認識を、要求し及び呼び出す。

一番近いコンペティタ

本発明のクレジット処理は、識別のユニークポイントである。金融機関の債務及び信用審査／承認プロセスはより広範囲にわたり、他のオンライン処理に比べて迅速なサービスを提供する。本発明は、紙の申請書を使う必要なく無担保の債務及びクレジット要求をシステム上に直接入力するためのオンライン処理を、L B R 1 2及び彼らの申請人10に提供する。担保付申請は、紙面で受け取る前に、条件付き承認（必要な照会及び承認を条件とする）を受け取る場合もある。

1ステップの取り引き口座開設と併せて、申請人10は分割ローン、極度貸付枠、及びチェックオーバー手形保護を含む全ての銀行取り引きを即座に開設す

ることができる。

システムの概説

本発明のシステムは、フロントエンド処理通信システム16に結合した金融ネットワーク端末14を含み、このシステム16は、全ての既存の顧客に関する情報を含むデータベース17にアクセスできる。フロントエンド処理通信システム16は、金融機関外の社会保障番号及び小切手の筆跡データベース（チェックシステムズ（Chexsystems）として既知である）ならびにACAPS処理システム26に接続されており、これはいくつかの他のシステムにアクセスする。これらのシステムには、オンラインバンクデータアクセスシステム24、信用調査所システム28、データアクセスシステム36、銀行カード口座履行システム40、及び申請人ルーティング／情報登録システム42が含まれる。

信用調査所システムは、少なくとも3つの主な信用（クレジット）データベース、即ちエキファックス（Equifax）30、トランスユニオン（Trans Union）32及びTRW34に通じるリンクを含む。

ACAPS処理システム26はデータベース27を含み、これは、例えば処理中の申請書、完了した照会要件及び審査中の信用限度申し出など、既存の顧客の情報を記憶する。

オンライン信用貸し（クレジット）決定後の処理は、マニュアルバックオフィス審査と共に、申請書ルーティング／情報登録システムによって行われる。

銀行カード口座履行システム40は、銀行カードの申請を処理するために使用される。

データアクセスシステム36は、銀行カード申請の処理の際に既存のバン

クカードデータを得るために使用される。

オンラインバンクデータアクセスシステム24は、既存の顧客に関する情報を得るために使用される。これは、4つのデータベース、即ちグローバル顧客情報ファイル17、リアルタイム口座取引／現在の残高データ記憶装置18、顧客情報人口統計データベース20及び付加的な銀行取引データベース22を含む。

オンライン信用貸し審査及び承認を行うシステム及び方法は、図40のプロツ

ク2000で始まるフローチャートに象徴的に示されている。フロントエンド処理システム（図1のブロック14及び16）にアクセスし、以下をデータ入力スクリーンに入力する：（1）申請人10の要請する信用貸し商品の情報；（2）処理中（ペンディング）の申請書；又は（3）申請人10のための信用限度申し出。これらを、ACAPS顧客情報ファイル記憶装置（図1のブロック27）から起動して、信用貸し決定処理を行うことができる（ブロック2002）。

入力データ（ブロック2002）を、強化ACAPS26に転送する（ブロック2004）。この転送により、オンライン審査及び承認決定処理が開始される。システムは経歴照合処理を行い、信用限度申し出を割り当てるために申請人の更なる信用力を確認する（ブロック2005）。

申請人10の情報を用いて、商品保守（Product Maintenance）－4スクリーンの関係プロファイル（Relationship Profile）パラメータ（図7のエレメント20）によって定義されるような検索を、銀行のオンラインデータシステムにおいて行う（ブロック2006）。銀行のオンラインシステムは、リアルタイムの口座取引及び現在の残高記憶装置（図1のブロック18）、既存の顧客の人口統計データベース（ブロック20）及び更なる取引データベース（ブロック22）からなる。これらの既存の銀行データシステムへの検索アクセスは、オンラインアクセスシステム（ブロック24）によって行われる。より多くのより完全な既存の顧客の関係（取引）データが、グローバル顧客情報ファイル（ブロック17）からも検索される。これらのシステムから集められた情報には、既存の顧客の金融機関との関係の長さ（月単位）、資産口座の総数及びド

ル額ならびに債務口座の総数及びドル額が含まれる。顧客との関係が存在する場合（ブロック2008からのYESブランチ）、図12に概略的に示される連結規則を用いて、顧客関係データから関係基準コードを生成する（ブロック2010）。次に、（図11に示される）商品が割り当てられた関係プライシングプロファイル（Relationship Pricing Profile）において関係コードを検索キーとして使用し、各顧客の既存の金融機関との関係に基づいて価格の申し出を行う際にアクセスする（図14に示される）商品プロファイル（Product Profile）表を

決定する。

関係が存在しなかった場合（ブロック2008からのNOブランチ）、割り当てられたデフォルト商品プロファイル（図14）にアクセスして価格の申し出を提供する（ブロック2014）。

全てのデータを入力した後、商品保守-1（PM1）表（図3に示される）において構成されるように、最小年齢、最低所得（収入）、不正及び二重申請に関するフロントエンド事前審査を行う（図41のブロック2020）。申請が事前審査のパラメータを満たさなかった場合（ブロック2022のYESブランチ）、これをバックオフィスに送り、（図39に示される）CCH優先表から最優先に割り当てられたルート状態を用いて更に審査する（ブロック2024）。バックオフィス審査の際、情報ディスプレイとして、保険業者又は審査員によって商品及び保険情報（Product and Insurance Information）（P11）（図18）ならびに所得情報（Income Information）（INC）（図20）を示すスクリーンにアクセスし、バックオフィス信用貸し決定プロセスを助けることができる。申請は“EN”（処理中）の状態を維持し、審査が進行中であることを申請人10に通知する（ブロック2026）。ここで、本発明の処理は完了セッションプロセスに分かれる（ブロック2028）。

システムは申請人10に対して生じた任意の信用限度申し出を提供し、ここでLBR12は申請人10とこれらの申し出について話し合うことができる（図51のブロック2252）。申請人がこれらのうちの任意の申し出の受諾を希望する場合、信用限度を信用貸し要請に変更し、最終決定割り当てのためのオンライン信用貸し処理が必要となる（ブロック2256）。申請人が申し

出を受諾しないことを決定したか（ブロック2254からのNOブランチ）、又は申し出を要請に変更する処理が完了した場合、ACAPS顧客情報ファイル（図1のブロック27）を更新して全ての信用貸し申請、信用限度申し出及び入力された申請人照会情報を記憶する（ブロック2258）。この情報の記憶及びこの情報へのアクセスは、信用評価パネル（Credit Qualification Panel）（QUA）（図25）及び顧客情報パネル（Customer Information Panel）（CIF）（図3

0)に示されている。商品保守-9 (PM9) スクリーン (図22) によって定められるように、この情報の使用及び限度申し出へのアクセスは、割り当てられた満期まで利用可能である。更新が完了すると、処理は終了する (ブロック2260)。

事前審査を通過した場合 (2022からのNOプランチ)、構成された不正照会を行う (ブロック2030)。申請がこの照会要件を満たさなかった場合 (ブロック2030からのYESプランチ)、前述 (ブロック2024及び2026) のように申請書のルーティング及び申請人への通知を行い、ここで処理は前述の図51に示される完了セッションプロセスに分かれる (ブロック2028)。

不正照会要件を満たした場合 (ブロック2030からのNOプランチ)、図1のブロック28, 30, 32及び34に示されるような信用調査所の報告を集め (ブロック2032)。

構成される災害/ポリシー審査を通過しなかった場合 (ブロック2034からのYESプランチ)、申請ステータスを“RT” (拒絶推奨) に変更し (ブロック2036)、前述のようにバックオフィス審査に送る (ブロック2048)。次に、前述のように、処理は図51に示される完了セッションプロセスに分かれる (ブロック2028)。災害/ポリシー審査を通過した場合 (ブロック2034からのNOプランチ)、災害応答コードを決定し、申請に割り当てる (ブロック2038)。

資金負担照会要件を満たさなかった場合 (ブロック2040からのYESプランチ)、申請ステータスを“DB” (資金負担審査) に変更し (ブロック2042)、前述のようにバックオフィス審査に送る (ブロック2048)。次

に、前述のように、処理は図51に示される完了セッションプロセスに分かれる (ブロック2028)。資金負担照会要件を満たした場合 (ブロック2040からのNOプランチ)、資金負担応答コードを決定し、申請に割り当てる (ブロック2044)。

(図9に示される) 商品保守-8 (PM8) において構成されるパラメータ及び規則を用いて、スコアリング応答コードを申請に割り当てる (図42のブロック

ク2052)。このスコアが拒絶カットオフ値以下である場合(ブロック2054からのYESプランチ)、申請ステータスを“RT”(拒絶推奨)に変更し(ブロック2062)、前述のようにバックオフィス審査に送る(ブロック2072)。次に、審査が進行中であることを申請人10に通知し(ブロック2074)、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる(ブロック2076)。

申請のスコアが拒絶カットオフ値よりも大きく、調査値よりも小さい場合(ブロック2056からのYESプランチ)、調査2ルーティング(Investigate 2 Routing)を申請に割り当て(ブロック2064)、申請ステータスを“RT”(拒絶推奨)に変更し(ブロック2062)、前述のようにバックオフィス審査に送る(ブロック2072)。次に、審査が進行中であることを申請人10に通知し(ブロック2074)、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる(ブロック2076)。

申請のスコアが調査値以上であり、承認カットオフ値未満である場合(ブロック2058からのYESプランチ)、調査1ルーティングを申請に割り当てる(ブロック2064)。商品が担保付きである場合(ブロック2068からのYESプランチ)、申請ステータスを“CA”(条件付き承認)に変更する(ブロック2070)。そうでない場合(ブロック2078からのNOプランチ)、申請ステータスを“RT”(拒絶推奨)に変更する(ブロック2062)。ここで、前述のようにバックオフィス審査に送る(ブロック2072)。次に、審査が進行中であることを申請人10に通知し(ブロック2074)、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる(ブロック2076)。

上記3つのテストに合格しなかった場合(ブロック2054, 2056及び2058からのNOプランチ)、申請のスコアは承認カットオフ値以上であると決定する(ブロック2060)。商品が担保付きである場合(ブロック2078からのYESプランチ)、申請ステータスを“CA”(条件付き承認)に変更する(ブロック2080)。そうでない場合(ブロック2078からのNOプランチ

)、申請ステータスを“RA”(承認推奨)に変更する(ブロック2082)。

商品がバンクカードである場合(ブロック2084からのYESプランチ)、バッチデータ保管所にアクセスし、申請人10の追加のバンクカード情報を検索する(図43のブロック2092)。入力された全てのデータ、ならびに電子的に収集された申請人の情報及び要請された商品の情報を、バンクカード処理システムにおける承認のためにバンクカード口座履行システム(図1のブロック40に示される)に転送する(ブロック2094)。申請がバンクカード口座履行システム40から「合格」の指示を受けなかった場合(ブロック2096からのNOプランチ)、申請ステータスを“BA”(バンクカード推薦)に変更し(ブロック2100)、次に承認ルーティング状態を割り当て(ブロック2102)、前述のようにバックオフィス審査に送る(ブロック2104)。次に、審査が進行中であることを申請人10に通知し(ブロック2106)、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる(ブロック2108)。

審査及び承認プロセスにおいてまだ継続中である申請の場合、申請の信用のスコア及び申請人の所得、又は申請人の銀行との関係金額及び所得に基づいた信用限度額を要請される商品に割り当てる(図44のブロック2112)。

推奨される限度割り当て額が、資金負担審査用の商品保守-3(PM3、図5)に示される範囲内である場合(ブロック2214からのYESプランチ)、図34と、その使用例を図35、図36、図37及び図38に示すように、最大資金負担申し出(MDBO)を計算する(ブロック2116)。PM1(図3)の使用割り当て限度パラメータが“Y”に設定されている場合(ブロック2118からのYESプランチ)、最終的な限度額割り当ては推奨される信用

限度額及びMDBO額のうち金額の少ない方である(ブロック2120)。PM1(図3)の使用割り当て限度パラメータが“N”に設定されている場合(ブロック2122からのYESプランチ)、最終的な限度額割り当ては要請されるローン額及びMDBO額のうち金額の少ない方である(ブロック2124)。PM1(図3)の使用割り当て限度パラメータが“X”に設定されている場合(ブロ

ック2126からのYESブランチ)、最終的な限度額割り当ては商品の最大許容額及びMDBO額のうち金額の少ない方である(ブロック2128)。

申請人10が学生、非居住外国人又は自営業者であり、PM3(図5)の例外パラメータを満たす場合(図45のブロック2136からのYESブランチ)、申請ステータスを更新せず(ブロック2140)、例外審査ルーティング状態を割り当て(ブロック2142)、前述のバックオフィス審査に送る(ブロック2144)。次に、審査が進行中であることを申請人10に通知し(ブロック2146)、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる(ブロック2148)。

申請人10が上記パラメータに適合しない場合(ブロック2136からのNOブランチ)、申請処理を続行する。既存の顧客の照会データ(図30の顧客情報パネルに示されるようなACAPS顧客情報ファイルに記憶されている)を検索し、商品保守-9スクリーン(PM9、図22)に設定された満期を比較することによって使用を有効にする。最終的な限度額割り当て／信用貸し申し出及び商品に割り当てられた照会プロファイル(Verification Profile)(図16に示される)を使用して、必要な照会を決定する(図46のブロック2152)。

次に、銀行債務残高応答コードを割り当てる(ブロック2154)。続いて、信用貸し応答コードで最も悪いものを選択する(ブロック2156)。債務残高コード及び信用貸し応答コードのうち良い方を選択することにより、最終的な応答コードを申請に割り当てる(ブロック2158)。

申請のスコア、申請人10のデータの自動審査及び割り当てられた応答コードに基づいて、自動の信用貸し申し出決定を提供する(ブロック2160)。この信用貸し申し出決定は、図2に示される決定及びランキングコードチャートからの、表に基づいた応答である。商品が担保付きである場合、“RT”(拒絶推奨)又は“CA”(条件付き承認)(必要な照会及びペーパーワークのペndding)の決定を割り当てる。商品が無担保である場合、以下の決定を割り当てることができる：“RT”(拒絶推奨)、“RA”(承認推奨)、“CA”(条件付き承認)又は“CO”(カウンターオファー)。

商品が担保付きである場合（図47のブロック2166からのYESブランチ）、割り当てられるステータスを吟味する（ブロック2168）。申請ステータスが“CA”に設定されている場合（ブロック2168からのYESブランチ）、条件付き承認であり、申請の最終処理が進行中であることを申請人10に通知する（ブロック2170）。ステータスが“RT”である場合（ブロック2168からのNOブランチ）、申請を更に審査することが必要であり、審査が進行中であることを申請人10に通知する（ブロック2172）。そして、申請をバックオフィスに送り、最終処理及び審査を行う（ブロック2174）。前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる（ブロック2176）。

商品が無担保である場合（ブロック2166からのNOブランチ）、申請ステータスを吟味する（図48のブロック2182、2190、2198及び2202）。ステータスが“RT”である場合（ブロック2182のYESブランチ）、前述のように申請をバックオフィス審査に送る（ブロック2184）。そして、審査が進行中であることを申請人10に通知する（ブロック2186）。前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる（ブロック2188）。

ステータスが“RA”である場合（ブロック2190からのYESブランチ）、ローンの申し出を申請人10に提供し、この申し出を受諾するか又は拒否するかを尋ねる（ブロック2192）。申請人10がローンの申し出を受諾した場合（ブロック2192からのYESブランチ）、申請ステータスを“AP”（ Pendinging予約承認）に更新する（ブロック2194）。そうでない場合（ブロック2192からのNOブランチ）、ステータスを“AW”（申請取り消し）に更新する（ブロック2196）。ここで、前述のように、処理は図51に示

されるような完了セッションプロセスに分かれる（ブロック2188）。

ステータスが“CO”である場合（ブロック2198からのYESブランチ）、カウンターオファーダウンセルのより少額の信用額を申請人10に通知する（図49のブロック2208）。申請人10がダウンセルローン額を受諾した場合

(ブロック2210からのYESブランチ)、完全にするために必要な照会を行う(ブロック2212)。照会要件が完全であった場合(ブロック2212からのYESブランチ)、申請ステータスを“AP”(ペンドィング予約承認)に更新する(ブロック2214)。必要な照会が不完全であった場合(ブロック2212からのNOブランチ)、申請ステータスを“CO”(カウンターオファー(必要な照会のペンドィング))に更新する(ブロック2216)。申請人10が申し出を拒否した場合(ブロック2210からのNOブランチ)、申請人は参照審査を依頼することができる(ブロック2218)。申請人が審査を希望しない場合(ブロック2218からのNOブランチ)、申請ステータスを“NO”(ダウンセル申し出拒否)に更新する(ブロック2220)。申請人が審査を希望する場合(ブロック2218からのYESブランチ)、申請ステータスを“CO”(カウンターオファー)(審査のペンドィング)に更新する(ブロック2222)。次に申請をバックオフィスに送り、申請人10が要請した審査を行う(ブロック2224)。ここで、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる(ブロック2226)。

申請ステータスを“CA”に決定する(ブロック2182, 2190及び2198からのNOブランチ)。条件付き承認であることを申請人10に通知する(図50のブロック2230)。より多額のアップセル信用貸し申し出がある場合(ブロック2232からのYESブランチ)、より多額の申し出を申請人10に提供する(ブロック2234)。ここで、初めの要請から承認された申し出までの範囲の額のローン申し出を受諾するか否かを申請人10に尋ねる。申請人10が申し出を受諾する場合(ブロック2236からのYESブランチ)完全にするために必要な照会を行う(ブロック2240)。必要な照会が完全である場合(ブロック2240からのYESブランチ)、申請ステータスを“AP”(ペンドィング予約承認)に更新する(ブロック2242)。必要な照会

が不完全である場合(ブロック2240からのNOブランチ)、申請ステータスを“CA”(条件付き承認)(必要な照会のペンドィング)のままにする(ブロック2244)。申請人10が申し出を拒否した場合(ブロック2236からのN

○プランチ）、申請ステータスを“AW”（申請取り消し）に更新する（ブロック2238）。ここで、前述のように、処理は図51に示されるような完了セッションプロセスに分かれる（ブロック2248）。

好適な実施の形態を特に参照して本発明を詳細に説明したが、本発明を他の及び異なるタスクに実施できることを容易に理解すべきである。当業者には容易に明らかであるように、本発明の趣意及び範囲内で変形及び変更を生じができる。従って、前述の開示及び図面は例示のみの目的であり、請求の範囲によつて画定される本発明を制限するものではない。

【図1A】

FIG. 1A

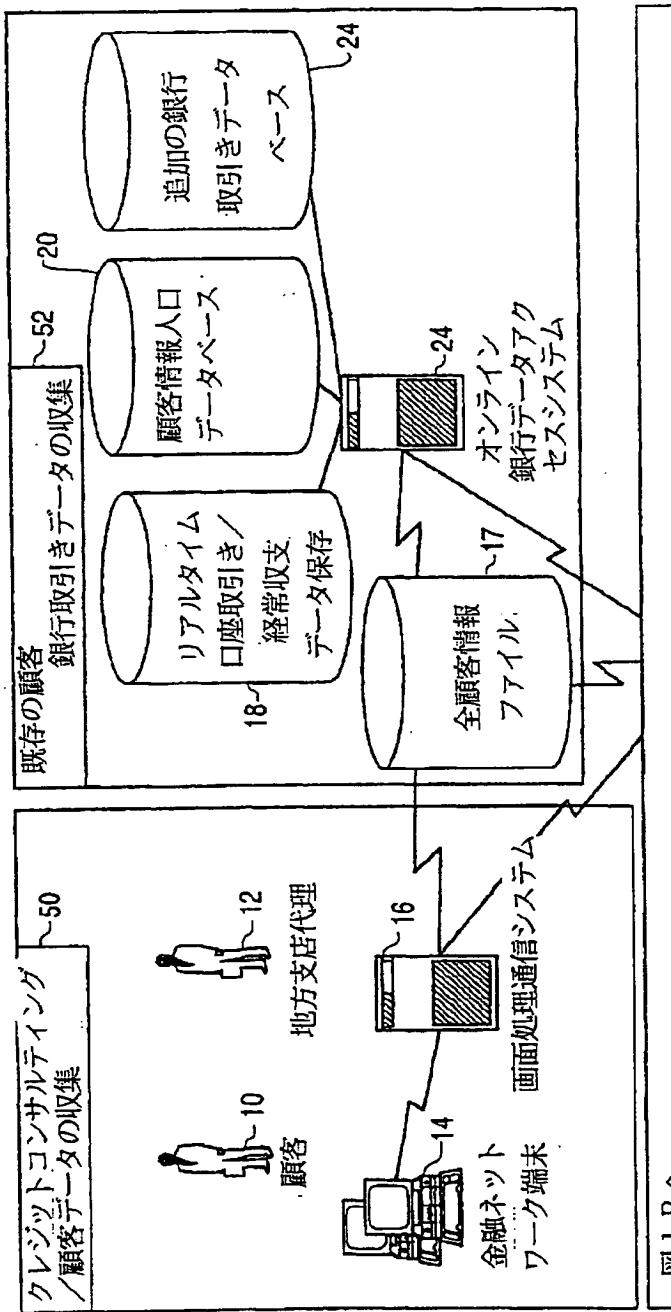


図1Bへ

【図1B】

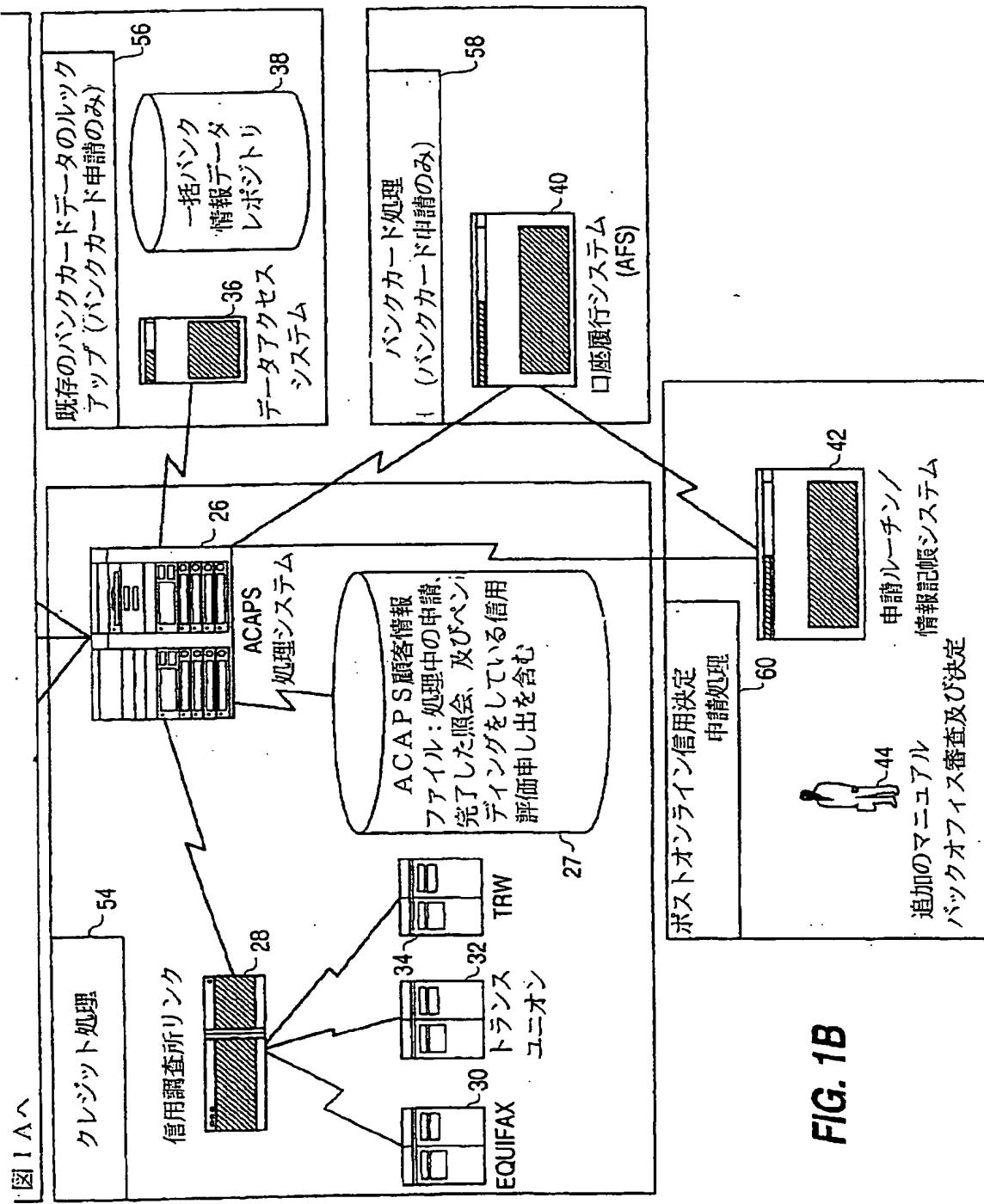


FIG. 1B

【図2】

FIG. 2

<u>Status Code</u>	<u>Response Code</u>	<u>Credit Decision Message</u>
RA	A	Recommended Approval
CA	A	A - Approved pending verification
CA	A	A - Approved for Upsell
CO	A	A - Counter Offer Approval
RT	-	Referred for review
RT	B	B - Referred for review
RT	C	C - Referred for Review
RT	D	D - Referred for Review
EN	-	Pending - In Process
DB	-	Pending - Debt Burden Review
MI	-	Missing Information
TE	-	Time expired
JD	-	Judgement Decline
SD	-	Score Decline
PD	-	Policy Decline
TD	-	Decline for Credit
AP	A	Approved - Pending Booking
AC	-	Customer Accepts
BK	-	Application Booked
NO	-	Rejected Downsell Offer
AW	-	Application Withdrawn
CN	-	Application Cancelled

【図3】

1	QPM1	- TERMID -	Product Maintenance - 1	--USER--	--DATE--	HH:MM
2	Nfn	Disp	Next	Loc		
3	PRODUCT CODE:		Product Name:			
4	Description :					
5	DATA ENTRY:					
6	Screen Seq:			Min/Max/Defaults:		
7				Min. . . : _____	Amt/Limit	Trm
8				Default: _____	Amo	Rate/Var
9	Error Corr Mode:	-		Max. . . : _____		
10	Min Mths at Res:	-	Profiles: Verification	Route to		
11	Min Mths at Emp:	-				
12	Default Ptry . . . :	-	AFS Rship Criteria:	Route to		
13	PROCESSING:	Product Type:	Rship Assignment.			
14	Unsecured/Secured Ind	-	Rship Pricing.	Product:		
15	Interest Type	-	VIR Indicator	Interest Base Code:		
16	Use Limit Assignment.	-	Base Rate Code:	Auto-Deduct Ind:		
17	Assign Limit at Step	DC. - CS1: - CS2: -	Cr Limit Profile ID:			
18	Prefill Verification Data		Generate ICS data:			
19	Set-up Activity Code		Visa Bin#/MC ICA :			
20	Acct# Generation Act Code		HMDA Report Req.	Agency	Distr #	
21	Fraud Route to	Post Rte: _____	Rptg ID	Tax ID		
22	Duplicate Route to: _____		Inact Days Before Arch:	AP:	TD	
23	Potential Liability Balance %:		Employee Application Route To:			
24	PFKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF					
				*****5*****6*****7*****8		
				*****5*****6*****7*****8		
				*****5*****6*****7*****8		

FIG. 3

FIG. 4A

行	ラベル	要素名／摘要	サイズ
11	VERIFICATION	NAU-PRM-VERIFICATION-PROFILE 照合処理用のプロファイルID。このフィールドへの入力はオプションである。 入力は、図16のプロファイル照合テーブルに既に存在する有効な状態でなければならぬ。	4 X(07)

11	ROUTE TO	NAU-PRM-VERIFICATION-ROUTE-TO 所銀照合プロセスではじかれて自動的にルートされた状態。照合プロファイルIDが入力されるとこのフィールドが必要となる。入力値はロケーションに応じた有効な状態でなければならない。	3 X(03)
12	AFS RSHIP CRITERIA	NAU-PRM-ECM-RSHIP-PROFILE-ID AFS 関連処理用のプロファイルID。このフィールドへの入力はオプションである。入力は、有効な既存のECM 関連プロファイルでなければならぬ。	3 X(07)
12	ROUTE TO	NAU-PRM-ECM-ROUTE-TO-STATE AFS オンライン承認プロセス中にエラーと遭遇すると自動的にルートされた状態。このフィールドへの入力はオプションである。入力は、ロケーションに応じた有効な ID でなければならぬ。	3 X(03)

【図4】

FIG. 4B

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要 素 名／摘 要</u>	<u>サイズ</u>
13	PRODUCT TYPE	NAU-PRM-PRODUCT-TYPE-IND	X(01)
商品のタイプインジケータ。このフィールドへの入力はオプションである。			
既存の有効な商品のタイプが入力されなければならない。			
有効な値は：			
	A	バンクカード	
	B	チエッキング・プラス	
	C	リード・クレジット	
	D	分割払いローン	
	E	優先枠	
	F	優先ローン	
	G	エクイティ・ソース・アカウント	
	H	第一抵当	
	I	第二抵当	
	J	DDAアカウント	
	K	貯蓄アカウント	
	L	チェック・ギャランティ	
	M	負債アカウント	
	N	優先バンクカード	
	O	優先VISA	
	P	優先MASTERCARD	
	Q	クラシック・バンクカード	
	R	クラシック・VISA	
	S	クラシック・MASTERCARD	
	T	フォード・バンクカード	
	U	フォード・VISA	
	V	フォード・MASTERCARD	
	W	アメリカン・アドバンテージ・バンクカード	
	X	アメリカン・アドバンテージ・VISA	
	Y	アメリカン・アドバンテージ・MASTERCARD	
	Z	ビジネス・チエッキング・プラス	
	1	ビジネス・レディー・クレジット	
	2	ビジネス月払いローン	
	3	ビジネス優先ローン	
	4	ビジネス支払ローン	
	5	チエッキング・プラス枠の上昇	
	6	レディー・クレジット枠の上昇	

【図4】

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要 約 名／摘 要</u>	<u>サ イ ズ</u>
14	RLSHIP PRICING	NAU-PRM-RLSHIP-PRICING-PROFILE 関連ライシングに処理用のプロファイルID。このフィールドへの入力はオプションである。入力は、既存の有効な関連プロファイルでなければならぬ。	X(07)
14	UNSECURED/SECURED IND	NAU-PRM-SECURED-PRODUCT-IND 商品が無担保であるか、または有担保であるかを示す。必須入力フィールド。 有効値は「U (無担保)」及び「S (有担保)」である。	X(01)
21	POST RTE	NAU-PRM-POST-FRD-DUP-ROUTE-TO 信用調査部門が要請した処理が実行された後に不正／複数が発見された場合に申請が自動的にルートされる状態。このフィールドへの入力はオプションである。入力直はロケーションに応じた有効な状態でなければならない。	X(03)

FIG. 4C

FIG. 5

【図5】

*****1*****	*****2*****	*****3*****	*****4*****	*****5*****	*****6*****	*****7*****	*****8*****
1 QPM3 - TERMD -	Nfn	Dsp	Product Maintenance - 3	-USER--	--DATE--	HH:MM	
2			Next	Loc			
3 Product Code:							
4 CREDIT SCORING:							
5 First Pass Algorithm ID: _____	Route To: _____	Ltr ID: _____	Auto AP: _____				
6 Approve Cutoff: _____	Route To: _____	Ltr ID: _____	Auto AP: _____				
7 Investigate ... : _____	Route To: _____	Ltr ID: _____					
8 Reject Cutoff: _____	Route To: _____	Ltr ID: _____	Auto TD: _____				
9 Second Pass Algorithm ID: _____	Route To: _____	Ltr ID: _____					
10 Approve Cutoff: _____	Disaster Pass Required: -	Auto AP: -					
11 Final Approval Route To ... : _____	Ltr ID: _____						
12 Rec Approval Route To ... : _____	Ltr ID: _____						
13 Conditional Apr Route To: _____	Ltr ID: _____						
14 Counter-Offer Route To ... : _____	Ltr ID: _____						
15 Investigate ... : _____	Disaster Pass Required: -						
16 Inv Reject - 1 Route To ... : _____	Ltr ID: _____						
17 Inv Reject - 2 Route To ... : _____	Ltr ID: _____						
18 Reject Cutoff : _____	Route To: _____	Ltr ID: _____	Auto TD: -				
19 RECOMMEND LINE ASSIGNMENT: From	To						
20 Debt Burden Review Range :	_____	_____	Route To: _____				
21 Automated Exception Range:	_____	_____	Route To: _____				
22 or Self-Empl < _____ mths and Rqst Amt/Line Assignment >= _____							
23 or Non-Residential Alien -							
24 PFKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF	3*****4*****5*****6*****7*****8*****						

Fig. 6A**【図 6】**

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>要</u>	<u>サイズ</u>
10	DISASTER PASS REQUIRED	NAU-PRM-APRV-DISASTER-RQRD-IND	X(01) 承認を受ける前の取扱い災害／ボリシ－審査を経由させる必要があるかどうかを示す。承認カットオフ・スコアが入力されていればこのフィールドへの入力は必須。このフィールドでは「N」がデフォルト値に設定されている。	
10	AUTO AP	PRM-SECOND-PASS-AUTO-APPRV-IND	X(01)	
		第二のクレジット・スコアが承認推奨の条件を満たした場合に申請が自動承認受けられるかどうかを示す。このフィールドへの入力は必須であり、デフォルト値は「N」である。		
		有効な値は：		
		Y イエス。自動承認しステータスを「AP」にセット。		
		R 承認を推奨する。ステータスを「RA」にセット。		
		C 条件付きで承認する。ステータスを「CA」にセット。		
		N ノー。		
12	REC APPROVAL ROUTE TO	NAU-PRM-RA-ROUTE-TO-STATE	X(03) 推奨承認がおこなわれて申請が自動的にルートされる状態。このフィールドへの入力はオプションである。入力値はロケーションに応じた有効な状態でなければならない。	
12	LTR ID	NAU-PRM-RA-LETTER-ID	X(04)	
		申請が推奨承認された場合にレターが自動的に発送される状態。このフィールドへの入力はオプションである。入力値は有効なレター ID でなければならぬ。		

【図6】

FIG. 6B

行	ラベル	要素名／摘要	要
13	CONDITIONAL APPR ROUTE TO	NAU-PRM-CA-ROUTE-TO-STATE	X(03) サイズ
		申請が条件付きで承認された場合に自動的にルートされる状態。 このフィールドへの入力はオプションである。入力値はロケーションに応じた有効な状態でなければならぬ。	
13	LTR ID	NAU-PRM-CA-LETTER-ID	X(04)
		申請が条件付きで承認された場合に発送されるレターである。 このフィールドへの入力はオプションである。入力値は有効なレターIDでなければならぬ。	
14	COUNTER-OFFER ROUTE TO	NAU-PRM-CO-ROUTE-TO-STATE	X(03)
		申請がカウンターオファーされた場合に自動的にルートされる状態。 このフィールドへの入力はオプションである。入力値はロケーションに応じた有効な状態でなければならぬ。	
14	LTR ID	NAU-PRM-CO-LETTER-ID	X(04)
		申請がカウンターオファーされた場合に自動的に発送されるレターである。このフィールドへの入力はオプションである。入力値は有効なレターIDでなければならぬ。	
15	INVESTIGATE	NAU-PRM-SECOND-PASS-INV-CUTOFF	9(05)
		調査範囲を表わすカットオフ値である。このフィールドへの入力はオプションである。入力値は承認値と拒否値との間の有効な数字でなければならぬ。	

FIG. 6C

行	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サブ</u>
16	<u>DISASTER PASS REQUIRED</u>	NAU-PRM-INV-DISASTER-RQRD-IND	X(01)
		申請が調査拒絶に進む前の段階で災害／ボリシー審査を経由させる必要があるかどうかを示す。調査カットオフ・スコアの入力があればこのフィールドへの入力は必須である。このフィールドではデフォルト値に「N」が設定されている。	
		有効な値は：	
		Y イエス N ノー	X(03)
17	<u>INV REJECT 2 ROUTE TO</u>	NAU-PRM-INV-RJCT-ROUTE-T0	
		調査拒絶範囲に該当し自動的にルートされる状態である。このフィールドへの入力はオプションである。入力値はロケーションに応じた有効な状態でなければならない。	
		NAU-PRM-INV-RJCT-LETTER-ID	X(04)
		申請が調査拒絶されてレターが自動発送される状態である。このフィールドへの入力はオプションである。入力値は有効なレターノードでなければならない。	
17	<u>LTR ID</u>	PRM-SECOND-PASS-AUTO-TD-IND	X(01)
		第二のクレジット・スコアが拒絶推奨に該当した場合に、申請を自動拒絶をおこなうかどうかを示す。このフィールドは必須入力であり、デフォルト値は「N」である。	
18	<u>AUTO TD</u>		
		有効値は：	
		Y イエス。自動拒絶を設定してステータスを「TD」にセット。 R 拒絶を推奨してステータスを「RT」にセット。 N ノー。	

【図6】

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
20	DEBT BURDEN REVIEW RANGE: FROM AND TO	NAU-PRM-LA-DB-REVIEW-FROM NAU-PRM-LA-DB-REVIEW-TO 資金負担を把握するための下限(from)・上限(to)枠割り当て 値である。	9(09).99
21	AUTOMATED EXCEPTION RANGE: FROM AND TO	NAU-PRM-LA-EXC-REVIEW-FROM NAU-PRM-LA-EXC-REVIEW-TO 自動的に調査の除外を設定するための下限・上限枠割り当て値 である。これらのフィールドへの入力はオプションである。入力 値は有効な数字でなければならない。推奨クリジット限度が指定 の範囲に存在すると資金負担調査ヘルートされる。これらの フィールドは全て「9 S」値にデフォルト設定されている。	9(09).99
21	ROUTE TO	NAU-PRM-EXC-REVIEW-ROUTE-TO 推奨クリジット限度額が自動例外調査の範囲に存在する場合、ま たは申請人の保有月数および枠割り当てが除外パラメータをバス した場合に申請が自動的にルートされる状態である。このフィー ルドは、自動例外調査の下限・上限枠割り当て値（全て9 Sの場 合は不要）が指定されている場合には必須入力である。入力値は ロケーションに応じた有効な状態でなければならぬ。	X(03)

FIG. 6D

FIG. 6E

行	ラベル	要素名／摘要	サイズ	図 6
22	MTHS	NAU-PRM-EXC-REVIEW-MTHS-TENURE 申請人が自営業者である場合に求められる保有期間の最低月数である。このフィールドへの入力はオプションである。入力値は有効な数字でなければならぬ。申請人と銀行との取り引きが必要な月数に満たず、更に必要なAR/LA額にも満たない場合には、自動例外調査ヘルートされる。	9(04)	
22	RQST AMT/LINE ASSIGNMENT >=	NAU-PRM-EXC-REVIEW-RQRD-RA-LA 申請が自動例外調査ヘルートされる前段階での自営業者の要求した最高限度額／枠割り当てである。自動例外調査の保有月数が入力されている場合には、このフィールドは必須入力である。 入力値は有効な数字でなければならない。	9(10)	
23	NON-RESIDENTIAL ALIEN	NAU-PRM-EXC-REVIEW-NRA-IND 自動例外調査に住居のない外国人申請者が含まれていた場合に表示をおこなう。自動例外調査の下限・上限値が入力されている場合には入力必須であり、デフォルト値は「Y（イエス）」に設定されている。 有効な入力値は： Y イエス N ノー	X(01)	

【图7】

*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8	Product Maintenance .4	..USER.. ..DATE.. HH:MM
1 QPM4 - TERPMID - Nfn	Dsp	Loc
2		
3 Product Code:		
4 User Exits:		
5 Application ID Generation:		
6 Financial Calculation		
7 SSN Search		
8 Fraud Detection		
9 Duplicate Detection		
10 Asset Validation		
11 Liability Validation		
12 New Account Set-up		
13 Credit Limit Assignment		
14 Collateral Validation		
15 Account Number Generation		
16 Insurance and Fees		
17 Debt Burden Calculation		
18 Review Rule Checking		
19 Accounting Sys Validation		
20 Relationship Profile		
21 AFS Processing		
22		
23		
24 PFKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF		
*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8		

FIG. 7

FIG. 8

行 ラベル

要素名／摘要

行	ラベル	要素名／摘要
20	RELATIONSHIP PROFILE	NAU-PRM-RSHIP-PREFILL-UX-IND 取り引き（関連）データが、外部データベースより事前に入力されたことを示す。

有効値は：

- N なし。(事前入力なし)
U ユーザー・イグジット

NAU-PRM-RSHIP-PREFILL-UX-NAME X(08)

申請人の取り引きデータを事前入力するユーザー・イグジット
・モジュールのプログラム名。NAU-PRM-RSHIP-PREFILL-
UX-IND='U'であればこのフィールドへの入力は必須であり、
有効なプログラム名を含んでいないければならない。もし「N」
と等しければこのフィールドはブランクでなければならない。

NAU-PRM-ECM-UX-ACTION-IND X(01)

ユーザー・イグジット・インジケータはAFSオンライン承認
処理が実行されるべきか否かを指定する

有効値は：

- N なし
U ユーザー・イグジット

NAU-PRM-ECM-UX-PROG-NAME X(08)

オンライン承認処理を実行するユーザー・イグジット・モジュ
ールのプログラム名である。NAU-PRM-ECM-ACTION-ID='U'
であれば、このフィールドへの入力は必須であり有効なプログ
ラム名を含まなければならぬ。もし「N」と等しければ、この
フィールドはブランクでなければならない。

〔図9〕

*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8
 1 QPM8 - TERMID. Product Maintenance - 8 --USER-- --DATE-- HH:MM
 2 Nfn _____ Dsp _____ Next _____ Loc _____
 3 Product Code: _____
 4 LIABILITY BALANCE: Response Code DEBT BURDEN: Response Code
 5 _____ - - - - - - - - - -
 6 _____ - - - - - - - - - -
 7 _____ - - - - - - - - - -
 8 _____ - - - - - - - - - -
 9 _____ - - - - - - - - - -
 10 DISASTER/POLICY SCREENING:
 11 Response Cd Processing? -
 12 Below Minimum Income -
 13 Below Minimum Age -
 14 PRE - SCREENING:
 15 CREDIT - SCORING:
 16 Hard Approval -
 17 Investigate Reject -1 -
 18 Investigate Reject -2 -
 19 Hard Reject - 3 -
 20
 21
 22
 23 KEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF
 24 *****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8

FIG. 9

【図10】

FIG. 10A

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要 素 名／摘 要</u>	<u>サ イ ズ</u>
03	PRODUCT CODE	PRM-PRODUCT-TYPE-CODE 商品を規定するアルファベットと数字を組み合わせたコードである。 このフィールドへの入力は必須である。	X(05)
06	LIABILITY BALANCE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-FROM-1 NAU-PRM-LIAB-BALANCE-TO-1 債務残高((取り引き額)である。申請人の取り引き額が指定範囲内に存在する場合には、申請人に対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。このうち一箇所に入力をおこなうと対応する下限・上限値のフィールドへの入力が必要である。入力値は、有効な数字で、且つ論理的な整合性がとれていなければならない。	9(11).99
06	RESPONSE CODE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-1-RC 債務残高（取り引き額）の範囲を表わす応答コードである。申請人の取り引き額が指定範囲内に存在していれば、申請に対して対応する応答コードが割り当てられる。対応する上限・下限値フィールドへの入力があれば、このフィールドへの入力は必須である。	X(01)
06	DEBT BURDEN	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-FROM-1 NAU-PRM-DEBT-BURDEN-TO-1 負債率の範囲を表わす。申請人の資金負担率が指定範囲内に存在する場合に申請人は対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力をおこなう場合、同時に対応する下限・上限値フィールドへの入力がなければならぬ。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならない。	9(4).999

【図10】

FIG. 10B

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要 素 名／摘 要</u>	<u>サ イ ズ</u>
06	RESPONSE CODE	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-1-RC 負債率の範囲を表わす応答コードである。申請人の負債率が指定範囲内に存在する場合に申請人は対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限値フィールドへの入力がある場合には、このフィールドへの入力は必須である。	X(01)
07	LIABILITY BALANCE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-FROM-2 NAU-PRM-LIAB-BALANCE-TO-2 債務残高((取り引き)額)の範囲を表わす。申請人の取り引き額が指定範囲内に存在する場合に申請人は対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力をおこなう場合、同時に対応する下限・上限値フィールドへの入力がなければならない。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならぬ。	9(11).99
07	RESPONSE CODE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-2-RC 負債残高(取り引き額)の範囲を表わす応答コードである。申請人の取り引き額が指定範囲内に存在する場合には、対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限値フィールドに入力がある場合にはこのフィールドへの入力が必要である。 有効値は： 「A」,「B」,「C」,「D」,「E」である。	X(01)

【図10】

FIG. 10C

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
07	DEBT BURDEN	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-FROM-2 NAU-PRM-DEBT-BURDEN-TO-2	9(4).999
		債務率の範囲を表わす。申請人の資金負担率が指定範囲内に存在する場合に、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力を起こなう場合、同時に対応する下限値または上限値フィールドへの入力がなければならない。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならない。	
07	RESPONSE CODE	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-2-RC	X(01)
		債務率の範囲を表わす応答コードである。申請人の債務率が指定範囲内に存在する場合には、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限値フィールドに入力がある場合には、このフィールドへの入力が必要である。	
		有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	
08	LIABILITY BALANCE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-FROM-3 NAU-PRM-LIAB-BALANCE-TO-3	9(11).99
		負債残高(取り引き額) の範囲を表わす。申請人との取り引き額が指定範囲内に存在する場合には申請人は対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力を起こなう場合、同時に対応する下限値または上限値フィールドへの入力がなければならない。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならない。	

【図10】

FIG. 10D

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
08	RESPONSE CODE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-3-RC	X(01)
		負債残高（取り引き額）を表わす応答コードである。申請人との取り引き額が指定範囲内に存在する場合には申請人は対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限値フィールドの入力があれば、このフィールドへの入力は必須である。	
		有効値は： 「A」, 「B」, 「C」, 「D」, 「E」である。	
08	DEBT BURDEN	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-FROM-3 NAU-PRM-DEBT-BURDEN-TO-3	9(4).999
		債務率の範囲を表わす。申請人の資金負担率が指定範囲内に存在する場合には、対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力を起こす場合、同時に対応する下限値または上限値フィールドへの入力がなければならぬ。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならない。	
08	RESPONSE CODE	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-3-RC	X(01)
		債務率を表わす応答コードである。申請人の債務率が指定範囲内に存在する場合には、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限フィールドの入力があれば、このフィールドへの入力は必須である。 有効値は：「A」, 「B」, 「C」, 「D」である。	

【図10】

FIG. 10E

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
09	LIABILITY BALANCE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-FROM-4 NAU-PRM-LIAB-BALANCE-TO-4	9(11).99

負債残高(取り引き額)の範囲を表わす。申請人との取り引き額が指定範囲内に存在する場合には、対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力をおこなう場合、同時に対応する下限値または上限値フィールドへの入力がなければならぬ。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならぬ。

⋮

09	RESPONSE CODE	NAU-PRM-LIAB-BALANCE-4-PC	X(01)
----	---------------	---------------------------	-------

負債残高(取り引き額)の範囲を表わす応答コードである。申請人との取り引き額が指定範囲内に存在する場合には、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限フィールドの入力があれば、このフィールドへの入力は必須である。

有効値は：
「A」, 「B」, 「C」, 「D」, 「E」である。

09	DEBT BURDEN	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-FROM-4 NAU-PRM-DEBT-BURDEN-TO-4	9(4).999
----	-------------	--	----------

債務率の範囲である。申請人の資金負担率が指定範囲内に存在する場合には、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。これらのフィールドへの入力はオプションである。一箇所に入力をおこなう場合、同時に対応する下限値または上限値フィールドへの入力がなければならぬ。また、入力値は有効な数字で且つ論理的整合性がとれていなければならない。

【図10】

FIG. 10F

行	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
09	RESPONSE CODE	NAU-PRM-DEBT-BURDEN-4-RC 債務率の範囲を表わす応答コードである。申請人の債務率が指定範囲に存在する場合には、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。対応する下限・上限フィールドの入力があれば、このフィールドへの入力は必須である。 有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	X(01)
12	BELOW MINIMUM INCOME	NAU-PRM-PRE-SCRN-MIN-INC-RC 低所得者事前審査規則を表わす応答コードである。事前審査で申請人が最低限度所得規則を下回る場合には、申請人は対応する応答コードが割り当てられる。このフィールドへの入力はオプションである。 有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	X(01)
12	RESPONSE CD PROCESSING?	NAU-PRM-POLICY-RC-CHECK-IND 応答コード処理が申請に対して災害／ポリシー審査に基づいて実行されるべきか否かを指定する。このフィールドへの入力は必須であり、デフォルト値は「N」に設定されている。このフィールドが「Y」つまりイエスに設定されると、申請人は災害／ポリシー審査ではじかれた場合には応答コードが割り当てられる。	X(01)

有効値は：

Y	イエス
N	ノー

【図10】

FIG. 10G

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
13	BELOW MINIMUM AGE	NAU-PRM-PRE-SCRN-MIN-AGE-RC 低年齢事前審査規則を表わす応答コードである。申請人が、事前審査の最低年齢チェックで最低年齢に満たない場合にはこの応答コードが割り当てられる。このフィールドへの入力はオプションである。 有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	X(01)
16	HARD APPROVAL	NAU-PRM-SCORING-APPROVE-RC	X(01)
		事前審査での承認困難を表わす応答コードである。申請人が認められたカットオフ値（図5のテーブルPM3に特定される）またはそれを越えるスコアに該当する場合には申請人はこの応答コードが割り当てられる。このフィールドへの入力はオプションである。 有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	
17	INVESTIGATION REJECT-1	NAU-PRM-SCORING-INV-APRV-RC	X(01)
		調査拒絶1スコア範囲を表わす応答コードである。申請人が調査拒絶-1範囲内（図5のテーブルPM3に特定される）のスコアに該当する場合には申請人はこの応答コードが割り当てられる。このフィールドへの入力はオプションである。 有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	
18	INVESTIGATION REJECT-2	NAU-PRM-SCORING-INV-REJ-RC	X(01)
		調査拒絶2スコア範囲を表わす応答コードである。申請人が調査拒絶-2範囲内（図5のテーブルPM3に特定される）のスコアに該当する場合には申請人はこの応答コードが割り当てられる。このフィールドへの入力はオプションである。 有効値は：「A」，「B」，「C」，「D」である。	

【図10】

FIG. 10H

<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
NAU-PRM-SCORING-REJECT-RC ハード(断固)拒絶評価範囲のための応答コード。 もし申請人が拒絶カットオフ値(図5の表PM3 に指定)以下の評価の場合、申請人にこの応答コ ードが割り当たられる。フィールドは任意である。	X(01)

【図11】

1	QRPP	- TERMID -	Relationship Pricing Profile	--USER--	--DATE--	HH:MM
2	Nfn	Dsp	Next	Loc		
3	Relationship Pricing Profile: _____					
4	Char:	____	Profile Name:	_____		
5	From:	____				
6	To:	____				
7	From:	____	To:	____		
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24	PFKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF					
	*****1*****	*****2*****	*****3*****	*****4*****	*****5*****	*****6*****
	*****7*****	*****8*****				

FIG. 11

【図12】

FIG. 12

取引基準コードは取引ライシングプロファイル (RPP) (図11) のためのルックアップ値を提供するために利用される。RPPは、行及び列のルックアップ範囲を有する2次元マトリックス(行列)である。行と列の交差部分であるマトリックスの第三の値は、顧客へのライシングの申出を提供するために使用される商品プロファイル (PM) (図14) を表す。

基準コードは以下のように表される：

単一コード：	REC 取引コード
	REA 取引量
	REM 取引月数
連結コード：	
RMA	取引月数及び量
RCM	取引コード及び月数
RCA	取引コード及び量

連結コードは左側が調整され、10文字長に結合される。RECの第一の文字、REMの最後の3文字、及びREAの最後の7文字が連結コードを形成するためには、右側が調整される。以下は、有効な連結コードの例である。

RMA:	月数 = 123	量 = 6789	有効コード = 1230006789
RCM:	RELコード = F	月数 = 123	有効コード = F123 スペース文字が6つ続く
RCA:	RELコード = G	量 = 1234567	有効コード = G1234567 スペース文字が2つ続く

【図13】

FIG. 13A

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
03	RELATIONSHIP PRICING PROFILE	NAU-RPP-PROFILE-ID 取引プライシング処理のためのプロファイルID。 このフィールドは必須であり、有効なRPPプロファイルIDである必要がある。	X(07)
03	PROFILE NAME	NAU-RPP-PROFILE-NAME 取引プライシングプロファイルの自由書式名。 このフィールドは任意である。	X(27)
04	CHAR	NAU-RPP-CHARACTERISTIC-2 取引プライシング目的で使用される申請人の特徴。このフィールドは任意である。 有効値は： REC 取引コード REA 取引量 REM 取引月数 RMA 取引月数及び量 RCM 取引コード及び月数 RCA 取引コード及び量	X(03)
05	FROM	NAU-RPP-CHAR-2-RANGE-LO (1-5)	X(10)
06	TO	NAU-RPP-CHAR-2-RANGE-HI (1-5)	X(10)
		特徴2のための領域であり、これらのフィールド は任意であるが、もし特徴2が指定されるならば 入力されねばならない。もし入力される場合は、 下限領域は対応する上限領域の値以下でなければ ならない。	

【図13】

FIG. 13B

行	ラベル	要素名／摘要	サイズ
06	CHAR	NAU-RPP-CHARACTERISTIC-1 取引プライシング目的で使用される申請人の特徴。このフィールドは任意である。	X(03)
		有効値は：	
		R E C 取引コード	
		R E A 取引量	
		R E M 取引月数	
		R M A 取引月数及び量	
		R C M 取引コード及び月数	
		R C A 取引コード及び量	
08- 23	FROM TO	NAU-RPP-CHAR-1-RANKGE-LO (1-16) NAU-RPP-CHAR-1-RANKGE-HI (1-16)	X(10) X(10)
		特徴1のために最大16セットの範囲が入力されうる。これらのフィールドは任意である。もし入力される場合には、下限領域は対応する上限領域の値以下でなければならない。	
08- 23	PRODUCT PROFILE ID	NAU-RPP-PRODUCT-PROFILE-ID(1-5)- (1-16)	X(10)
		対応する特徴1（行）及び特徴1の（列）範囲を満足する申請に割り当てられる商品プロファイルID。行及び列が交差するフィールドに指定された量は割り当てられたクレジット限度額である。もし特徴2が指定されていないならば、認定行の第一列の値が割り当てられる。	

FIG. 14

*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8	
1 QPPM - TERMID -	Product Profile
2 Nfn	-DATE-- HH:MM
3	Loc _____
4 Profile Name...:	Desc: _____
5 Effective Date :	99/99/99 to 99/99/99 Source: _____ Code: _____
6 Prod Code(s):	_____
7	_____
8 Policy Profile:	N/A _____ as of: 99/99/99
9	FINANCIAL PROFILE
10	Amt / Limit Trn Amo Rate Ver
11	999999999 999 999 999.999 999.999
12 Cust Req Minimum...:	999999999 999 999 999.999 999.999
13 Cust Req Default...:	999999999 999 999 999.999 999.999
14 Cust Req Maximum...:	999999999 999 999 999.999 999.999
15 Approval Minimum...:	999999999 999 999 999.999 999.999
16 Approval Maximum...:	999999999 999 999 999.999 999.999
17 Qualifying.....:	999 999 999.999 999.999
18 Default Base Rate...:	999999999 Fee Comments/Desc: _____
19 Annual Fee	N/A _____ as of: 99/99/99 Floor ...: 999.999
20 Disclosure Profile:	N/A _____ as of: 99/99/99 Ceiling: 999.999
21 Insurance Profile:	N/A _____ as of: 99/99/99
22 Fees Profile.....:	23
24 PFKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF	*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8

【図15】

FIG. 15

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
19	ANNUAL FEE	PPM-ANNUAL-FEE-AMT 商品の年間手数料。このフィールドは任意である。 もし入力される場合は、有効な数値でなければなら ない。	9(05).99
20	FEE COMMENTS/DESC	PPM-ANNUAL-FEE-DESC 商品の年間手数料に関する自由書き式の記述。 このフィールドは任意である。	X(27)

【図16】

1	QVRP	. TERMID.	Verification Profile5.....6.....7.....8
2	Nfn	Dsp	Next	--USER-- DATE-- HH:MM
3	Verification Profile ID:	Desc:	Loc	Loc
4	RECOMMENDED LIMIT			
5	FROM	To		
6			Employ: - - -	EXC: Special Emp _ or RLT >= ____ mths
7			Income: - - -	For : ____ - - - and RLT < ____ mths
8			Phone: - - -	
9			ID: . . . : - - -	
10			Employ: - - -	EXC: Special Emp _ or RLT >= ____ mths
11			Income: - - -	For : ____ - - - and RLT < ____ mths
12			Phone: - - -	
13			ID: . . . : - - -	
14			Employ: - - -	EXC: Special Emp _ or RLT >= ____ mths
15			Income: - - -	For : ____ - - - and RLT < ____ mths
16			Phone: - - -	
17			ID: . . . : - - -	
18			Employ: - - -	EXC: Special Emp _ or RLT >= ____ mths
19			Income: - - -	For : ____ - - - and RLT < ____ mths
20			Phone: - - -	
21			ID: . . . : - - -	
22	Income Verification:		Tolerance%:	_____
23				
24	PKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF			*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8

FIG. 16

FIG. 17A

要素名／摘要

【図 17】

サイズ

X(07)

ラベル

VERIFICATION PROFILE ID

(67)

特表2002-515991

NAU-VRP-PROFILE-ID
照会プロファイルのプロファイルID。このフィールドは必須であり、英数字が有効である。

X(30)

NAU-VRP-PROFILE-DESCRIPTION

照会プロファイルの説明。このフィールドは任意であり、英数字が有効である。

次の17個のフィールドは、照会プロファイル表に4回現れる。

NAU-VRP-REC-LIMIT-RANGE-FROM(1-4)
NAU-VRP-REC-LIMIT-RANGE-TO(1-4)

FROM及びTOの値は推奨限度である。これらのフィールドは任意である。入力される場合、有効数字でなければならない。この申請が特定範囲内に当たる場合は、その推奨信用限度を有する場合、指定の照会要件をパスする必要がある。

X(01)

NAU-VRP-EMPLOYMENT-IND(1-4)

指定された推奨限度範囲のために職業照会が必要かどうかを示す。対応する推奨限度のFROMフィールド及びTOフィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。

有効値は： Y はい、
N いいえ

RECOMMENDED LIMIT
FROM AND TO

06, 10, 14, 18

EMPLOY

06, 10, 14, 18

【図17】

FIG. 17B

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
06, 10, 14, 18		NAU-VRP-EMP-MISSING-INFO-CD (1-4) 指定された推奨限度範囲のための職業照会コードが抜けている。	X(03)
06, 10, 14, 18	EXC: SPECIAL EMP	対応する推奨限度のFROMフィールド及びTOフィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。このフィールドは有効とされない。	X(01)
06, 10, 14, 18		NAU-VRP-EXC-EMPLOYMENT-IND (1-4) 銀行側で確認された例外職業コードが職業照会から除外されているかどうかを示す。対応する推奨限度のFROMフィールド及びTOフィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。このフィールドは有効とされない。 有効値は： Y はい N いいえ 銀行は以下の例外職業コードを確認する。 K, 1 自営業（専門職） Z 自営業（小事業） H 主婦 U 無職（収入あり） 2 無職（収入なし） R 定年退職 S 学生	
06, 10, 14, 18	OR RLT >= MTHS	NAU-VRP-SELF-EMP-MIN-TENURE (1-4) 職業照会から除外するために必要な銀行との最低取引き月数。このフィールドは任意である。 入力される場合は、有効な整数でなければならぬ。	9(04)

【図17】

FIG. 17C

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
07, 11, 15, 19	INCOME	NAU-VRP-INCOME-IND (1-4) 指定された推奨限度範囲に収入照会が必要かどうかを示す。対応する推奨限度のFROMフィールド及びTOフィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。 有効値は： Y はい N いいえ	X(01)
07		NAU-VRP-INC-MISSING-INFO-CD (1-4) 指定された推奨限度範囲のための収入照会が抜けている。対応する推奨限度のFROMフィールド及びTOフィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。このフィールドは有効とされない。	X(03)
07	FOR	NAU-VRP-INCOME-OCC-CODES-1 (1-4) NAU-VRP-INCOME-OCC-CODES-2 (1-4) NAU-VRP-INCOME-OCC-CODES-3 (1-4) NAU-VRP-INCOME-OCC-CODES-4 (1-4)	X(02) X(02) X(02) X(02)
11, 15, 19		収入照会が行われる職業コード。収入照会指示が“Y”（はい）にセットされたときは、在職フィールドの従業員であった月数の少なくとも1つの職業コードを入力しなければならない。特別なグループコードが入力されてもよい。	
07, 11, 15, 19	RLT < ____ MTHS	NAU-VRP-INCOME-SELF-TENURE (1-4) 収入照会に必要な銀行との最高取引き月数。対応する収入照会指示が“Y”（はい）にセットされたときは、少なくとも1つの職業コード又はこのフィールドを入力しなければならない。 入力される場合は有効な整数でなければならぬ。	9(04)

【図17】

FIG. 17D

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
08, 12, 16, 20	PHONE	NAU-VRP-PHONE-IND (1-4) 指定された推奨限度範囲で電話番号照会が必要かどうかを示す。対応する推奨限度のF R O Mフィールド及びT O フィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。 このフィールドは有効とされない。 有効値は： Y はい N いいえ	X(01)
08, 12, 16, 20		NAU-VRP-PHN-MISSING-INFO-CD (1-4) 指定された推奨限度範囲のための電話番号照会が抜けている。対応する推奨限度のF R O Mフィールド及びT O フィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。 このフィールドは有効とされない。	X(03)
09, 13, 17, 21	ID	NAU-VRP-IDENTIFICATION-IND (1-4) 指定された推奨限度範囲に I D 照会が必要かどうかを示す。対応する推奨限度のF R O Mフィールド及びT O フィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。このフィールドは有効とされない。 有効値は： Y はい N いいえ	X(01)
09, 13, 17, 21		NAU-VRP-ID-MISSING-INFO-CD (1-4) 指定された推奨限度範囲のための I D 照会が抜けている。対応する推奨限度のF R O Mフィールド及びT O フィールドの中に値が入力された場合、このフィールドは必須である。このフィールドは有効とされない。	X(01)

【図17】

FIG. 17E

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
23	INCOME VERIFICATION TOLERANCE %	NAU-VRP-INCOME-TOLERANCE-PCT 9(2).99	収入照会のための予定収入から逸脱する場合の許容範囲の最大パーセンテージ。そのプロファイル上で複数の推奨限度範囲のうちのどれかのために収入照会が選択されたとき、このフィールドが必要である。入力される場合、有効数字でなければならない。

FIG. 18

*****1*****2*****3*****4*****5*****6*****7*****8							
1 QPII	- TERMPID -	Product and Insurance Info			--USER--	-DATE-	HH:MM
2	Nfn	Dsp	Next	Loc	Loc		
3 WILSON, MR RICK B			WILSON, MS SUSAN G		12345678	02/01/89	
4 889 MAIN ST			415-555-1234		DUP FRD NOTE		
5 ANYTOWN, CA 94598			VISA \$ 8000		CBRNN EN		
6 Proc	Loc	G/L	Cls				
7 Status: EN PENDING - IN PROCESS							
8 Product Code				Profile	Payment		
9 Type	-				Minimum Pmt		
10 Purpose					BRT		
11 Amount					Var		
12 Accept	Max DB Offer						
13 Rt	Fl	Ceiling		Tm	Amo	Fq	Bl
14 Insurance:							
15 Type	Description	Y/N	Comments				
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24	PKEYS: 1-HELP 2-MEN 3-OFF 4-CBR 5-CUS 6-HIS 7-HTX 8-SUM 9-EMP 10-Next 11-NAM	3*****2*****1*****	4*****5*****6*****7*****8				

【図19】

FIG. 19

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイン</u>
12	ACCEPT	NAU-APP-LOAN-AMOUNT-ACCEPTED 顧客により受領された最終ローン価格。このフィールドは任意であり、データ完了時前には入力されず、決定価格を変更する権限を有するユーザによってのみ入力される。もし入力される場合には、有効な数値でなければならず、決定された価格以下でなければならない。	9(09).99
12	MAX DB OFFER	NAU-APP-MAXIMUM-DB-OFFER 顧客に対して提示される最大資金負担額。このフィールドは最大資金負担提示額割り当てプロセスが実行された時に表示のみされる。このフィールドは保護されており、系統的に算出される。	9(09).99

【図20】

FIG. 20

【図21】

FIG. 21

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
21,	BASE	NAU·APP·PRI·BASE·VER·INC NAU·APP·SEC·BASE·VER·INC	9(09).99 9(09).99
22		主たる申請人及び従たる申請人の照会された基本所得。これらのフィールドは任意である。もし入力される場合は、有効な数値でなければならぬ。	
21,	OTHER	NAU·APP·PRI·OTHER·VER·INC NAU·APP·SEC·OTHER·VER·INC	9(09).99 9(09).99
22		主たる申請人及び従たる申請人の照会された他の所得。これらのフィールドは任意である。もし入力される場合は、有効な数値でなければならぬ。	
21,	TOTAL	NAU·APP·PRI·TOT·VERIFIED·INC NAU·APP·SEC·TOT·VERIFIED·INC	9(09).99 9(09).99
22		主たる申請人及び従たる申請人の照会された総所得。これらのフィールドは保護されており、対応する照会された基本及び他の所得の合計値である。	

[図22]

*****1*****	*****2*****	*****3*****	*****4*****	*****5*****	*****6*****	*****7*****	*****8*****
1 QPM9 - TERMID -	Nm	Dsp	Product Maintenance - 9	..	USER ..	DATE ..	HH:MM
2	Next				Loc		
3 Product Code:							
4							
5 CUSTOMER ASSESSMENT FACILITY							
6 Access Indicator:	-						
7							
8 CUSTOMER INFORMATION FILE:							
9 Max Days to Store Booked Loan Info	:		EMP	INC	PHN	ID	
10 Max Days to Use Verification Info	:						
11 Max Days to Use Cr Qualification Offer :							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23 PFKEYS: 1-HELP 5-MEN 3-OFF							
*****1*****	*****2*****	*****3*****	*****4*****	*****5*****	*****6*****	*****7*****	*****8*****

FIG. 22

【図23】

FIG. 23

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
09	MAX DAYS TO STORE BOOKED LOAN INFO:	NAU-PRM-MAX-DAYS-CAP-LOAN-INFO 顧客情報記録にローンエントリーが存続する最大日数であり、新規クレジットの要求に対する資金負担分析に含まれることが可能である。このフィールドは数値であり、0に初期設定される。もし入力される場合は、有効な数値でなければならない。	9(03)
10	MAX DAYS TO USE VERIFICATION INFO; INC	NAU-PRM-MAX-DAYS-CAP-INC-VERIF 顧客情報記録に所得照会情報が有効であり続ける最大日数。このフィールドは数値であり、0に初期設定される。もし入力される場合は、有効な数値でなければならない。	9(03)
10	EMP	NAU-PRM-MAX-DAYS-CAP-EMF-VERIF 顧客情報記録に雇用照会情報が有効であり続ける最大日数。このフィールドは数値であり、0に初期設定される。もし入力される場合は、有効な数値でなければならない。	9(03)
10	PHN	NAU-PRM-MAX-DAYS-CAP-PHN-VERIF 顧客情報記録に電話番号照会情報が有効であり続ける最大日数。このフィールドは数値であり、0に初期設定される。もし入力される場合は、有効な数値でなければならない。	9(03)
10	ID	NAU-PRM-MAX-DAYS-CAP-ID-VERIF 顧客情報記録に識別照会情報が有効であり続ける最大日数。このフィールドは数値であり、0に初期設定される。もし入力される場合は、有効な数値でなければならない。	9(03)

【図24】

FIG. 24

- | | | |
|----|---|--------------------------------------|
| 10 | MAX DAYS TO USE CR
QUALIFICATION INFO: | NAU-PRM-MAX-DAYS-CAP-CR-QUA
9(03) |
|----|---|--------------------------------------|
- 顧客情報記録にクレジット認定の提示、或いは最大クレジットの供与が有効であり続ける最大日数。このフィールドは数値であり、0に初期設定される。もし入力される場合は、有効な数値でなければならぬ。

FIG. 25

【図25】

1	QQUA	- TER MID -	CREDIT QUALIFICATION PANEL			-- USER --	-- DATE --	HH:MM
2	95012100001000	Nfn UPD	Dsp QUA_Next 95012100001000			Loc	12345678	02/01/89
3	WILSON, MR RICK B		WILSON, MS SUSAN G			DUP FRD NOTE		
4	889 MAIN ST		42 - 555 - 1234			CBRNN EN		
5	ANYTOWN, CA 94598		MLIA \$ 8000					
6	7 QUALIFICATION OFFERS:		Start	/	/	PRI	SEC	JNT
8	9 SUBJECT:		Univ Credit :	Date	/	Line		
10	Act	Loc	Rgst Prod	Rgst Line	Type	Rec Line	Rate	Expire
11	1	-	-	-	-	-	-	-
12	2	-	-	-	-	-	-	-
13	3	-	-	-	-	-	-	-
14	4	-	-	-	-	-	-	-
15	5	-	-	-	-	-	-	-
16	6	-	-	-	-	-	-	-
17	7	-	-	-	-	-	-	-
18	8	-	-	-	-	-	-	-
19	9	-	-	-	-	-	-	-
20	10	-	-	-	-	-	-	-
21								
22								
23								
24	PFKEYS: 1-HELP	2-MEN	3-OFF	4-CBR	5-CUS	6-HIS	7-HTX	8-SUM
	*****1	*****2	*****3	*****4	*****5	*****6	*****7	*****8
	*****1	*****2	*****3	*****4	*****5	*****6	*****7	*****8
	*****1	*****2	*****3	*****4	*****5	*****6	*****7	*****8
	*****1	*****2	*****3	*****4	*****5	*****6	*****7	*****8

【図26】

FIG. 26

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
07	START DATE	NAU-APP-QUA-START-DATE クレジット認定パッケージの開始日。このフィールドはACAPSにより設定され、保護される。	9(08)
07	PRI	NAU-APP-PRI-QUAL-OFFERS 主たる申請人が資格のある商品数。このフィールドは保護される。	9(02)
07	SEC	NAU-APP-SEC-QUAL-OFFERS 従たる申請人が資格のある商品数。このフィールドは保護される。	9(02)
07	JNT	NAU-APP-JNT-QUAL-OFFERS 主たる申請人及び従たる申請人が資格のある商品数。このフィールドは保護される。	9(02)
07	3RD	NAU-APP-3RD-QUAL-OFFERS 借り手3が資格のある商品数。このフィールドは保護される。	9(02)
07	4TH	NAU-APP-4TH-QUAL-OFFERS 借り手4が資格のある商品数。このフィールドは保護される。	9(02)
07	5TH	NAU-APP-5TH-QUAL-OFFERS 借り手5が資格のある商品数。このフィールドは保護される。	9(02)

FIG. 27 09 SUBJECT

NAU-APP-QUAL-SUBJECT-IND
クレジット認可の提示が資格ハネル上に表示される
件名ハネル。

X(03)

NAU-APP-SUBJECT-IND

【図 27】

有効値は以下の通り：
P R I 主たる申請人
S E C 従たる申請人
J N T 連名(主たる申請人及び従たる申請人)
3 R D 借り手3
4 T H 借り手4
5 T H 借り手5

09 UNIVERSAL CREDIT: DATE NAU-APP-UNIVERSAL-CR-DATE

S9(08)
共通のクレジット限度額が顧客に対しての判断処理に
より決定される日付。このフィールドは保護される。

09 LINE NAU-APP-UNIVERSAL-CR-LINE

S9(09)
V99
顧客に対しての判断処理により決定される共通クレ
ジット限度額。このフィールドは保護される。

11. ACTION CODE NAU-APP-QUA-CUS-ACTION-IND (1_10)

20 顧客の行為コード

有効な行為コードは：

A 受諾
D 辞退
スペース

このフィールドは資格認定の申し出期間が満了
していない場合にのみ入力される。

FIG. 28 11- LOCATION
20

NAU-APP-QUA-ACAPS-LOCATION (1-10)

バックオフィスの証券引受業者により選択される、或いは
プロントエンドシステムによりマッピングされるACAPS
のロケーションコード。このフィールドは顧客がクレジッ
ト認定の申し出を受領した場合のみ入力される。もし入
力される場合には、有効なACAPSのロケーションコー
ドでなければならぬ。このフィールドは資格認定の申し
出期間が満了していない場合にのみ入力される。

11- PRODUCT
20

NAU-APP-QUA-ACAPS-PRODUCT (1-10)

バックオフィスの証券引受業者により選択される、或いは
プロントエンドシステムによりマッピングされるACAPS
の商品コード。このフィールドは顧客がクレジット認定の
申し出を受領した場合のみ入力される。もし入力される
場合には、有効なACAPSの商品コードでなければなら
ぬ。このフィールドは資格認定の申し出期間が満了して
いない場合にのみ入力される。

11- REQUESTED LINE IND
20

NAU-APP-QUA-RQST-LINE-IND (1-10)

顧客により受領／要求されたクレジット限度額を
示す。このフィールドは顧客がクレジット認定の
申し出を受領した場合にのみ入力される。

有効値は：

- A 推奨される限度額を受領する
- M より多くのクレジットを要求する
- L より少ないクレジットを要求する

このフィールドは資格認定の申し出期間が満了して
いない場合にのみ入力される。

X(06) 図 28

【図29】

FIG. 29

11- 20	REQUESTED LINE	NAU-APP-QUA-RQST-LINE-AMT (1-10)	9(08)
		顧客により受領／要求された額を示す。このフィールドは顧客がクレジット認定の申し出を受領した場合、及びより多くの／より少ないクレジットを要求する場合にのみ入力される。このフィールドは、顧客がより少ないクレジットを要求した場合に必要とされるが、顧客がより多くのクレジットを要求した場合には任意である。このフィールドは申し出が受領され、申請書が生成される迄は指定の商品のための最小及び最大ローン額のパラメータに反して有効にはされない。	
11- 20	PRODUCT TYPE	NAU-APP-QUA-PRODUCT-ID (1-10)	X(05)
		商品の分類区分（クラス及びタイプ）又は実際のA C A P S の商品コードを示す。このフィールドは判断処理により戻され、保護される。	
11- 20	REC LINE	NAU-APP-QUA-REC-LINE-AMT (1-10)	9(08)
		顧客に提示されたクレジット限度額を示す。このフィールドは判断処理により決定される。	
11- 20	RATE	NAU-APP-QUA-REC-PRICE (1-10)	9(4)V9 99
		顧客により提示された価格を示す。このフィールドは判断処理により決定される。	
11- 20	EXPIRE	NAU-APP-QUA-EXPRESS-DATE (1-10)	9(08)
		クレジット資格認定の申し出満了日付を示す。このフィールドは保護される。もしこの日付が過ぎると、顧客は申し出を受領／辞退をすることができない。	
11- 20	APPLICATION ID	NAU-APP-QUA-ACAPS-APPL-ID (1-10)	X(15)
		顧客がクレジット資格認定の申し出を受領した時に、A C A P S により生成される申請の I D を示す。このフィールドは保護される。	

[図30]

*****1	*****2	*****3	*****4	*****5	*****6	*****7	*****8
1 QCIF	- TERMID - N/n UPD	Customer Information Panel Dsp CAN_Next	-- USER -- Loc	-- DATE --	-- HH:MM		
2							
3	Search Criteria: SSN/TIN#	-----	Initials	-----			
4							
5							
6	Name	-----	Soc/TIN	-----			
7	Max Universal Line	Inc Date / / By	Verified Inc	-----			
8	Verification	Emp Date / / By	How	-----			
9		Phn Date / / By	How	-----			
10		ID Date / / By	How	-----			
11			How	-----			
12				-----			
13	Action	Product Application ID	Num. of Bills	Credit Line	Monthly Payment	Closing Date	
14	Code	-----	-	-----	-----	-----	
15		-----	-	-----	-----	-----	
16	-	-----	-	-----	-----	-----	
17	-	-----	-	-----	-----	-----	
18	-	-----	-	-----	-----	-----	
19	-	-----	-	-----	-----	-----	
20	-	-----	-	-----	-----	-----	
21							
22							
23	PFKEYS: 1-HELP 5-MEN 3-OFF	-----	-----	-----	-----	-----	
24							
*****1	*****2	*****3	*****4	*****5	*****6	*****7	*****8

FIG. 30

【図31】

FIG. 31

<u>行</u>	<u>ラベル</u>	<u>要素名／摘要</u>	<u>サイズ</u>
07	NAME	CIF-CUSTOMER-NAME 借り手の名前。もし顧客が個人ならば、名、ミドルネームのイニシャル及び姓がフォーマットに入れられる。このフィールドは保護される。	X(40)
07	SOC/TIN	CIF-SOC-SEC-TAX-ID-NUM 借り手の社会保障番号、又は税金支払い I D番号。 このフィールドは保護される。	X(09)
08	MAX UNIVERSAL LINE	CIF-MAX-UNIVERSAL-LINE 顧客に対しての判断処理により決定される共通の最大クレジット限度額。このフィールドは保護される。	S9(09) V99
09	INC: DATE	CIF-INC-DATE-VERIFIED 該顧客に対して所得照会が実行された日付。 このフィールドは保護される。	9(08)
09	BY	CIF-INC-USER-ID 所得照会の実行者の I D。このフィールドは保護される。	X(08)
09	HOW	CIF-INC-HOW-VERIFIED-1 CIF-INC-HOW-VERIFIED-2 どのように所得が照会されたかを示すコード。 このフィールドは保護される。	X(02)
09	VERIFIED INC	CIF-INC-TOTAL-VERIFIED-AMT 該顧客の照会された総所得。このフィールドは保護される。	9(09)V 99

【図32】

FIG. 32

10	EMP: DATE	CIF-EMP-DATE-VERIFIED	9(08)
		該顧客に対して雇用照会が実行された日付。 このフィールドは保護される。	
10	BY	CIF-EMP-USER-ID	X(08)
		雇用照会の実行者の I.D. このフィールドは 保護される。	
10	HOW	CIF-EMP-HOW-VERIFIED-1 CIF-EMP-HOW-VERIFIED-2	X(02)
		どのように雇用が照会されたかを示すコード。 これらのフィールドは保護される。	
11	PHN: DATE	CIF-PHN-DATE-VERIFIED	9(08)
		該顧客に対して電話番号照会が実行された日付。 このフィールドは保護される。	
11	BY	CIF-PHN-USER-ID	X(08)
		電話番号照会の実行者の I.D. このフィールドは 保護される。	
11	HOW	CIF-PHN-HOW-VERIFIED-1 CIF-PHN-HOW-VERIFIED-2	X(02)
		どのように雇用が照会されたかを示すコード。 これらのフィールドは保護される。	
12	ID: DATE	CIF-ID-DATE-VERIFIED	9(08)
		該顧客に対して I.D. 照会が実行された日付。 このフィールドは保護される。	
12	BY	CIF-IDUSER-ID	X(08)
		I.D. 照会の実行者の I.D. このフィールドは 保護される。	

【図33】

FIG. 33

12	HOW	CIF-ID-HOW-VERIFIED-1 CIF-ID-HOW-VERIFIED-2	X(02)
		どのように I D が照会されたかを示すコード。 これらのフィールドは保護される。	
16- 20	ACTION CODE	CIF-DB-INCLUDE-IND (1-5)	X(01)
		ローンの月払い額が、顧客の新規クレジット要求に対する資金負担分析に含まれるべきかを示す。有効値は “Y (YES)” 及び “N (NO)” である。このフィールドは “Y” に初期設定され、閉鎖システムからバックフィードが受信されると系統的に “N” に変更される。更に、このフィールドは手動でも設定されうる。	
16- 20	PRODUCT	CIF-ACAPS-PRODUCT-CODE (1-5)	X(05)
		ローンのための A C A P S の商品コード。 このフィールドは保護される。	
16- 20	APPLICATION ID	CIF-ACAPS-APPL-ID (1-5)	X(15)
		ローンのための A C A P S の申請 I D。 このフィールドは保護される。	
16- 20	NUM OF BRWRS	CIF-NUM-OF-BORROWERS (1-5)	9(01)
		ローンのある借り手の総数。 このフィールドは保護される。	
16- 20	CREDIT LINE	CIF-APRV-AMT (1-5)	9(09) V99
		閉鎖システムにより戻される最終ローン額。 このフィールドは保護される。	
16- 20	MONTHLY PAYMENT	CIF-APRV-MONTHLY-PMT-AMT (1-5)	9(09) V99
		閉鎖システムにより戻される最終月払い額。 このフィールドは保護される。	
16- 20	CLOSING DATE	CIF-DATE-OF-CLOSING (1-5)	9(08)
		ローンの決算日。このフィールドは保護される。	

FIG. 34

最大資金負担申し出の計算

$$1. \text{ 所得総額} \times \frac{\text{最大のTDSR\%}}{(\text{PM 6の表で指定されている})} = \text{許容可能な毎月の支払債務総額}$$

$$2. \frac{\text{許容可能な毎月の支払債務総額}}{\text{支払債務総額}} - [\text{信用調査所の報告} - \frac{\text{債務パネルからの支払調整総額}]} = \text{新規のローン支払}$$

=新規のローン支払
において許容可能な最高額

3. 新規のローン支払において許容可能な最高額／支払計算法=最大資金負担申し出

ここで、支払計算法は以下のように定義される：

* 担付き商品：

a. E S A (変額利息) 商品：

支払計算法=毎月の利率

b. ホームエクイティ (固定利率) 商品及び優先ローン：

支払計算法=1／現在の値

c. 好適な限度額：

支払計算法= $(1 + (\text{毎月の利率} \times \text{期間})) / \text{期間}$

* 無担保商品：

a. リボルビングローン(チェックキングプラス(Checking Plus)、レディークレジット(Ready Credit)、バンクカード)：
支払計算法=潜在的な債務% (PM 1の表に指定される)

b. 分割ローン：

支払計算法=1／現在の値

【図35】

FIG. 35

使用ステップ インジケータ	CS2ステップ インジケータ	要請金額	推奨信用限度額	最大資金負担 申し出額	決定／限度額
Y	Y	10,000	7,000	5,000	5,000

- A. 第2のバスのスコアリングを初めて行う際に、信用限度額プロファイル表を用いて推奨信用限度額を割り当てる。
- B. 最大資金負担申し出額を計算する。
- C. 第2のバスのスコアリングを初めて行う際に限度額が資金負担審査範囲内である場合、最大資金負担申し出限度額の割り当てを行い、最終的な限度額は最大資金負担申し出額及び中間の限度額のうち少額の方である。中間の限度額が資金負担審査範囲外である場合、中間の限度額が最終的な限度額になる。
- D. 最大資金負担申し出額の変更が後で生じても、限度額は変わらない。

【図36】

FIG. 36

使用ステップ インジケータ	CS2ステップ インジケータ	要請金額	推奨信用限度額	最大資金負担 申し出額	決定／限度額
Y	E	10,000	7,000	5,000	5,000
			4,000	5,000	4,000
			4,000	3,000	3,000

- A. 第2のバスのスコアリングを行う度に、信用限度額プロファイル表を用いて推奨信用限度額を割り当てる。
- B. 任意の変数が変わる度に、最大資金負担申し出額を（再）計算する。
- C. 第2のバスのスコアリングを初めて行う際に、初期の限度額割り当てを行いう。中間の限度額は推奨信用限度額である。中間の限度額が資金負担審査範囲内である場合、最大資金負担申し出限度額の割り当てを行い、最終的な限度額は、最大資金負担申し出額及び中間の限度額のうち少額の方である。中間の限度額が資金負担審査範囲外である場合、中間の限度額が最終的な限度額になる。
- D. 第2のバスのスコアリングを再び生じるような変数の変更が後で生じた場合は、限度額の割り当てを再度行う。
- E. 総額又はP IIパネルに対して決定した金額をマニュアル更新しても、再度の限度額の割り当ては行わない。

【図37】

FIG. 37

<u>使用ステップ CS2ステップ インジケータ</u>	<u>要請金額</u>	<u>推奨信用限度額</u>	<u>最大資金 負担申し出額</u>	<u>決定／限度額</u>
Y	0	10,000	7,000	7,000
			7,000	4,000
			3,000	4,000
			3,000	3,500

- A. 第2のバスのスコアリングを行う度に、信用限度額プロファイル表を用いて推奨信用限度額を割り当てる。
- B. 任意の変数が変わる度に、最大資金負担申し出額を（再）計算する。
- C. 第2のバスのスコアリングを初めて行う際に、初期の限度額割り当てを行なう。中間の限度額は、推奨信用限度額及び要請金額のうち少額の方である。中間の限度額が資金負担審査範囲内である場合、最大資金負担申し出額及び中間の割り当てを行い、最終的な限度額は、最大資金負担申し出額及び中間の限度額のうち少額の方である。中間の限度額が資金負担審査範囲外である場合、中間の限度額が最終的な限度額になる。
- D. 推奨信用限度額の変更が後で生じても、再度の限度額割り当ては行わない。
- E. 現行の限度額が資金負担審査範囲内である場合、最大資金負担申し出額の変更が後で生じたときは限度額割り当てを再度行う。その場合、最大資金負担申し出額の限度額割り当てを行い、最終的な限度額は最大資金負担申し出額及び現行の限度額のうち少額の方となる。

【図38】

FIG. 38

使用ステップ インジケータ	CS2ステップ インジケータ	要請金額	推奨信用限度額	最大資金負担 申し出額	決定／限度額
Y	F	10,000	11,000	12,000	10,000
			9,000	12,000	10,000
			9,000	8,000	8,000
			3,000	3,500	3,500

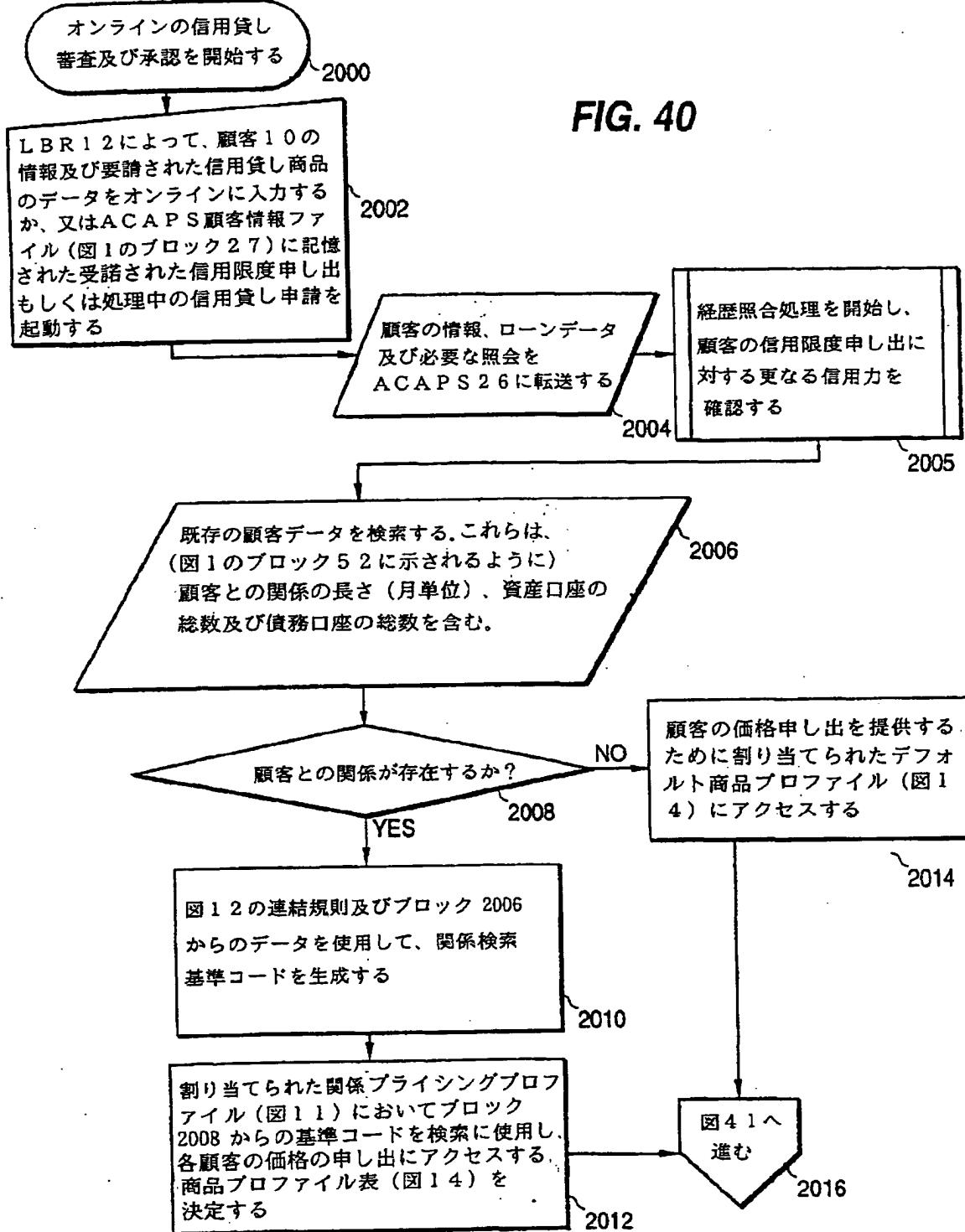
- A. 第2のバスのスコアリングを行う度に、信用限度額プロファイル表を用いて推奨信用限度額を割り当てる。
- B. 任意の変数が変わる度に、最大資金負担申し出額を（再）計算する。
- C. 第2のバスのスコアリングを初めて行う際に、初期の限度額割り当てを行いう。中間の限度額は要請金額である。中間の限度額が資金負担審査範囲内である場合、最大資金負担申し出額の割り当てを行い、最終的な限度額は、最大資金負担申し出額及び中間の限度額のうち少額の方である。中間の限度額が資金負担審査範囲外である場合、中間の限度額が最終的な限度額になる。
- D. 推奨信用限度額の変更が後で生じても、再度の限度額割り当ては行わない。
- E. 現行の限度額が資金負担審査範囲内である場合、最大資金負担申し出額の変更が後で生じたときは限度額割り当てを再度行う。その場合、最大資金負担申し出額の限度額割り当てを行い、最終的な限度額は最大資金負担申し出額及び現行の限度額のうち少額の方となる。

FIG. 39

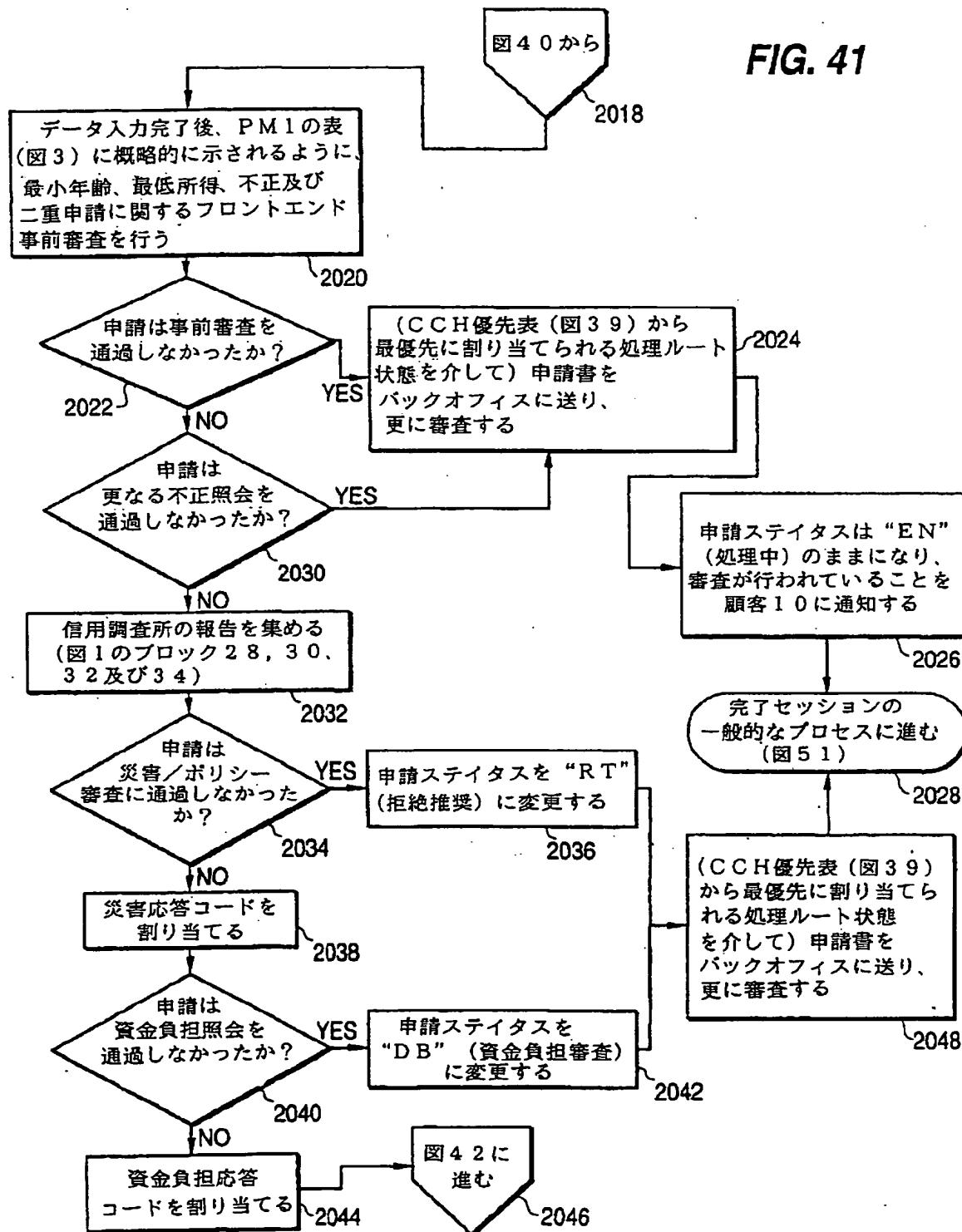
CCH PRIORITY TABLE

申請工程状態	表示ルート	優先順位
1. クレジット調査所前工程	Pre-CB Rte SI (PM@)	1
2. クレジット評価の第一回通過	1st Pass Scr Rte SI (PM3)	6
3. 規則審査の第一回通過	1st Pass RR Rte SI (PM6)	8
4. 二重申請	Duplicate Rte SI (PM1)	10
5. 虚偽ファイル交合せ	Fraud Rte SI (PM1)	12
6. 最低所得要件	Min Inc Rte SI (PM2)	14
7. 最低年齢資格	Min Age Rte SI (PM2)	16
8. 認可前商品	Pre-Approval Rte SI (PM2)	18
9. クレジット調査所後工程	Post CB Rte SI (PM2)	20
10. クレジット評価の第二回通過	2nd Pass Scr Rte SI (PM3)	20
11. 照会失敗	Verification Rte SI (PM2)	20
13. クレジット調査所複数該当	No Hit Rte SI (PM2)	22
14. クレジット調査所複数該当	Multi Hits Rte SI (PM2)	22
15. 類似リスト受信	Lst of Similar Rte SI (PM2)	22
16. 報告書の要求無し	No Rpt Rqst Rte SI (PM2)	22
17. クレジット調査所該当内容の複写	CBR Copied Rte SI (PM2)	22
18. クレジット調査所規則／災害審査	CB RR Rte SI (PM7)	26
19. 資金負担の審査	2nd Pass RR Rte SI (PM6)	27
20. AFS エラーの遭遇	AFS Rte SI (PM1)	28
21. 審査規則の第二回通過—未許可申請書の予備選別	CB RR Rte SI (PM7)	29
22. 自動化された例外事項	Auto Exc Rte SI (PM3)	30
23. 従業員申請ルート	Employee Rte SI (PM2)	31
24. クレジット調査所後の虚偽／二重申請	Post Fld/Dup Rte SI (PM1)	32
25. 評価の第二回通過－拒絶キー	Reject Ser Rte SI (PM3)	33
26. 規則審査の第二回通過／災害未許可	CB RR Rte SI (PM7)	33

【図40】

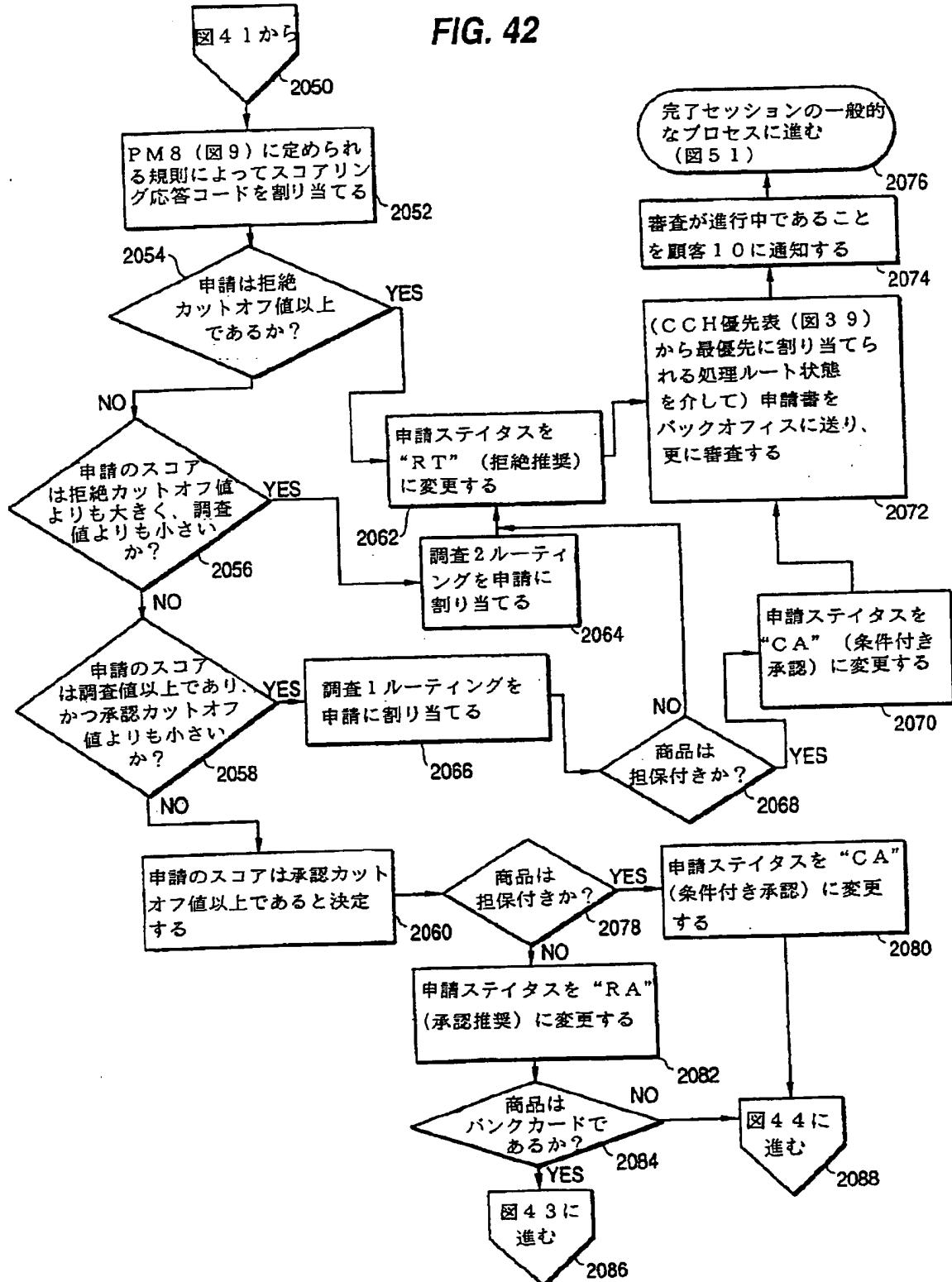


【図41】

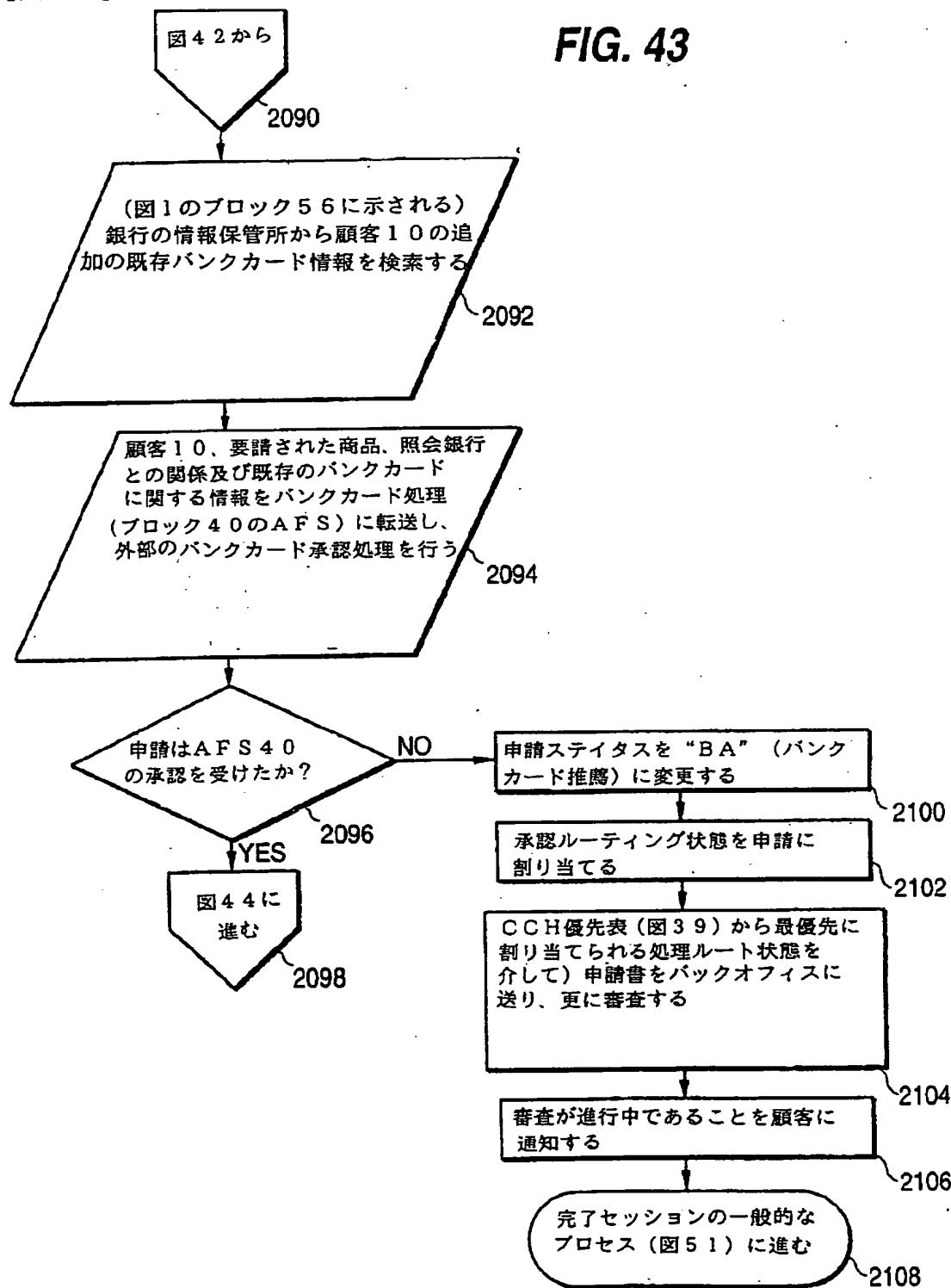


【図42】

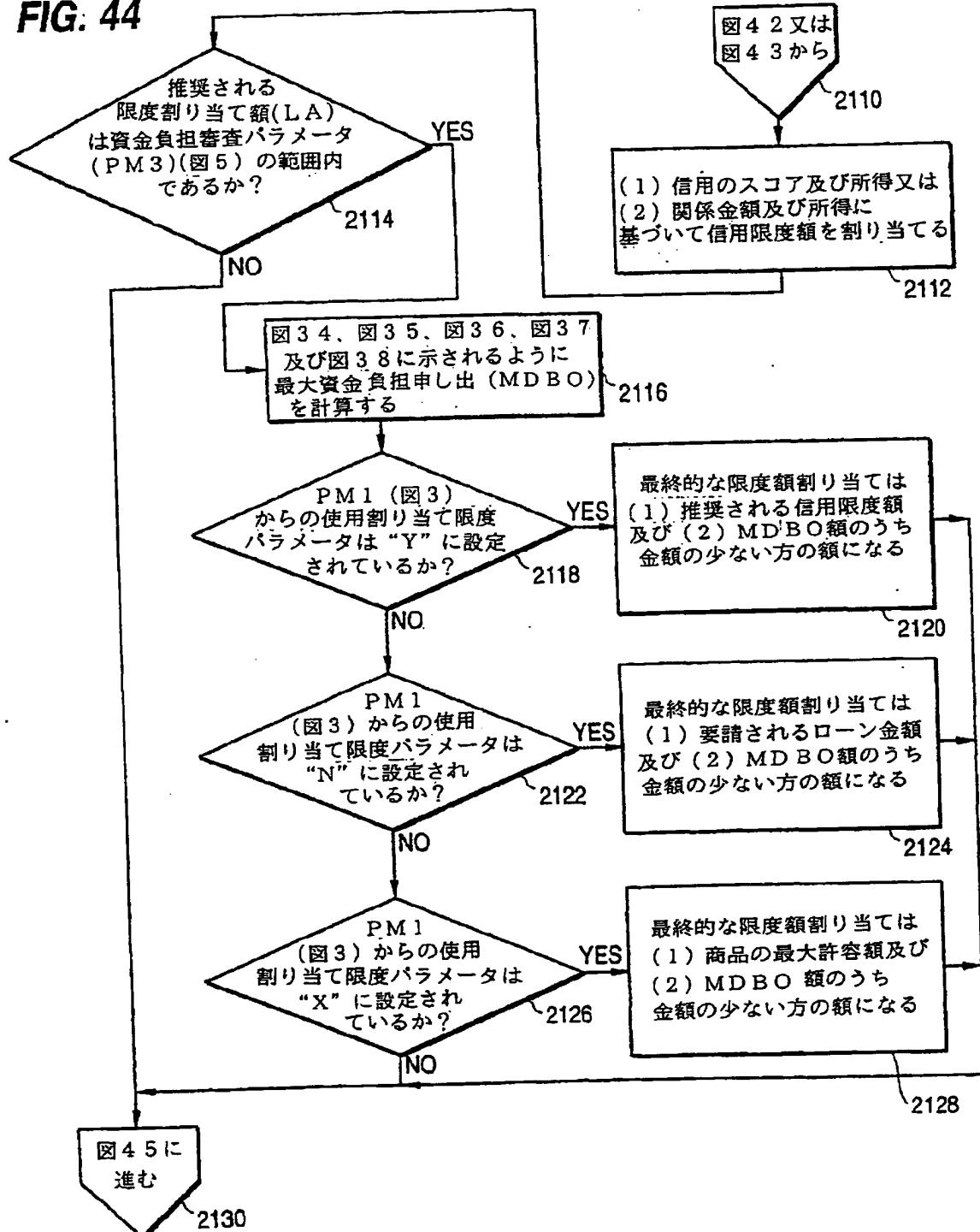
FIG. 42



【図43】

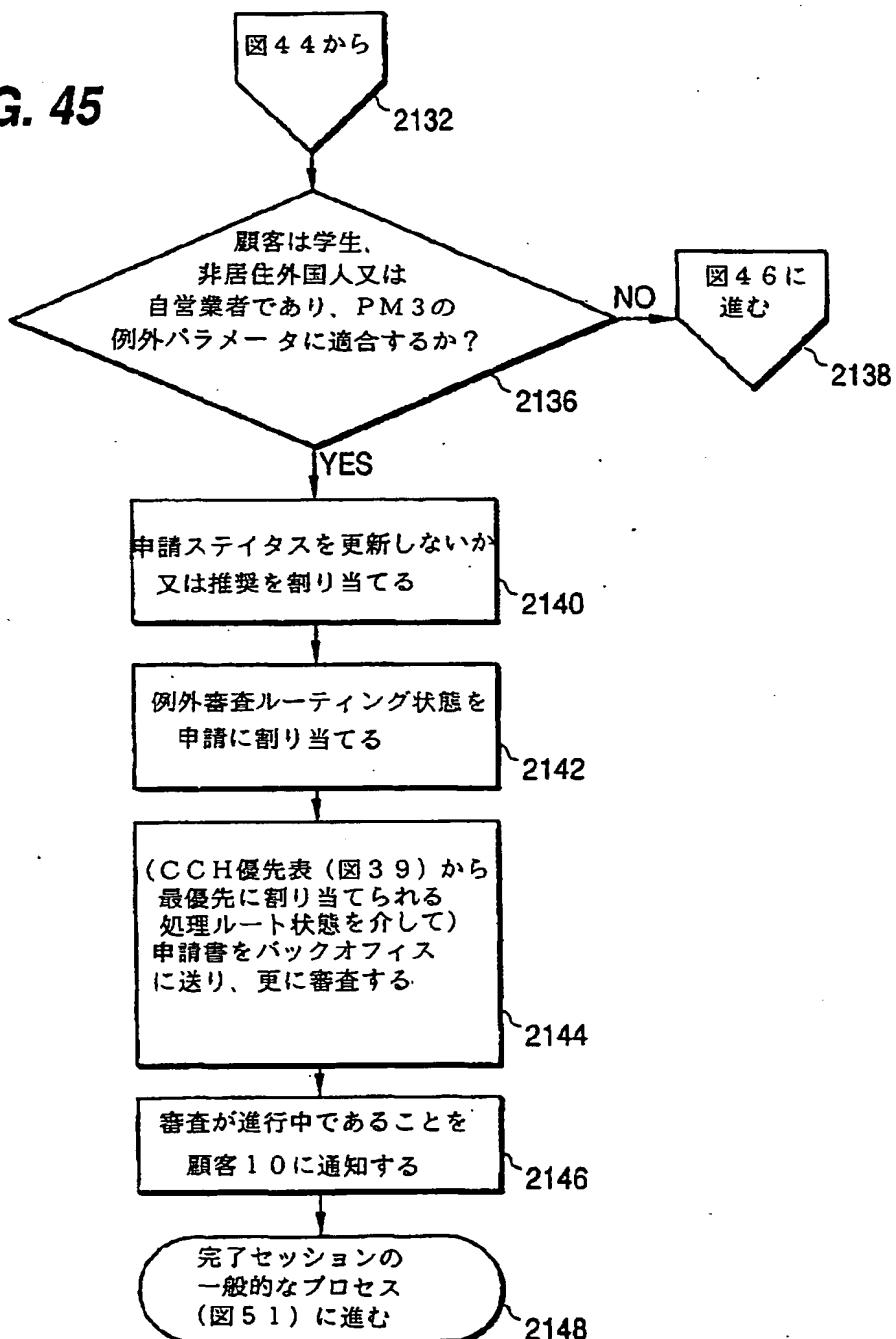


【図44】
FIG. 44

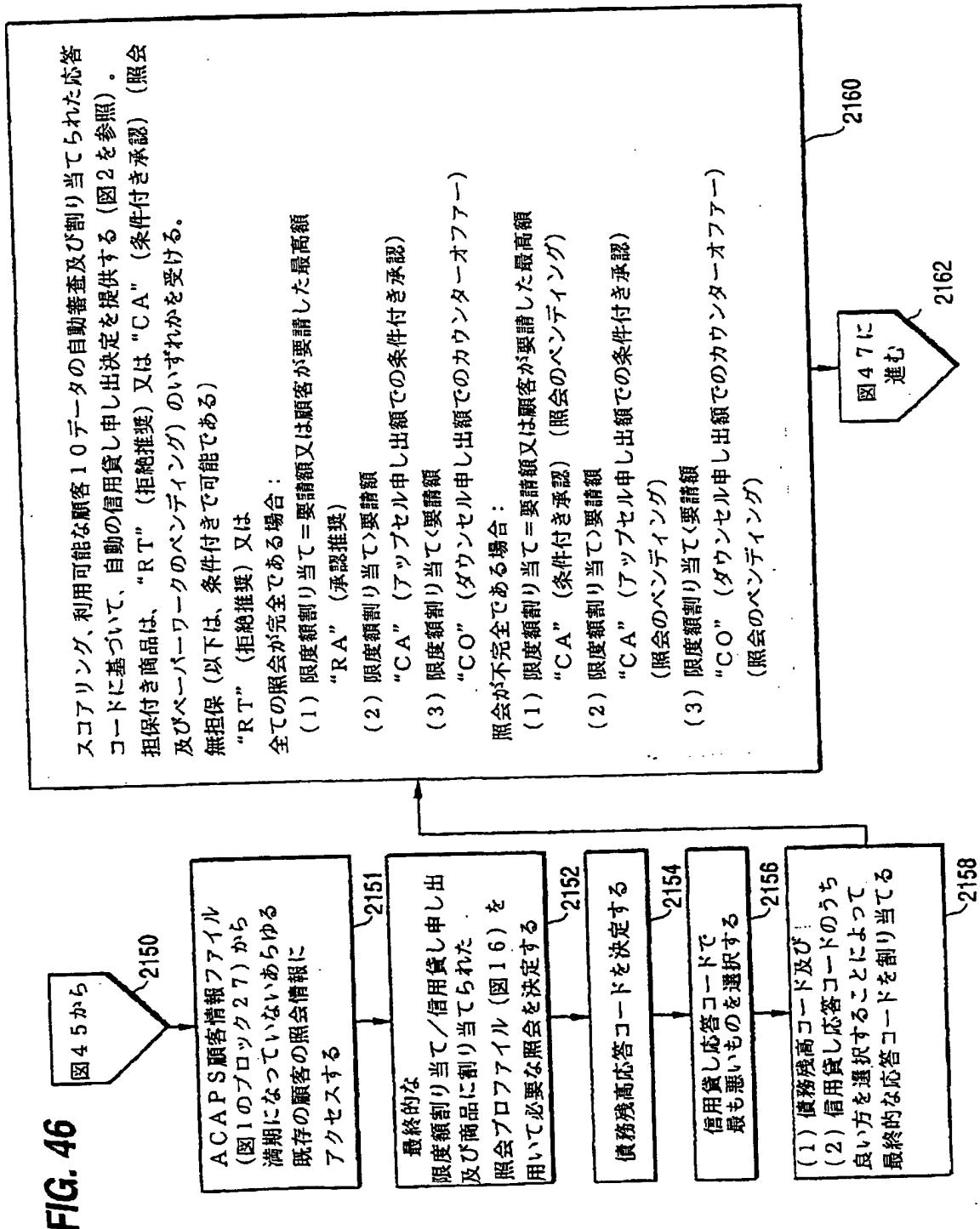


【図45】

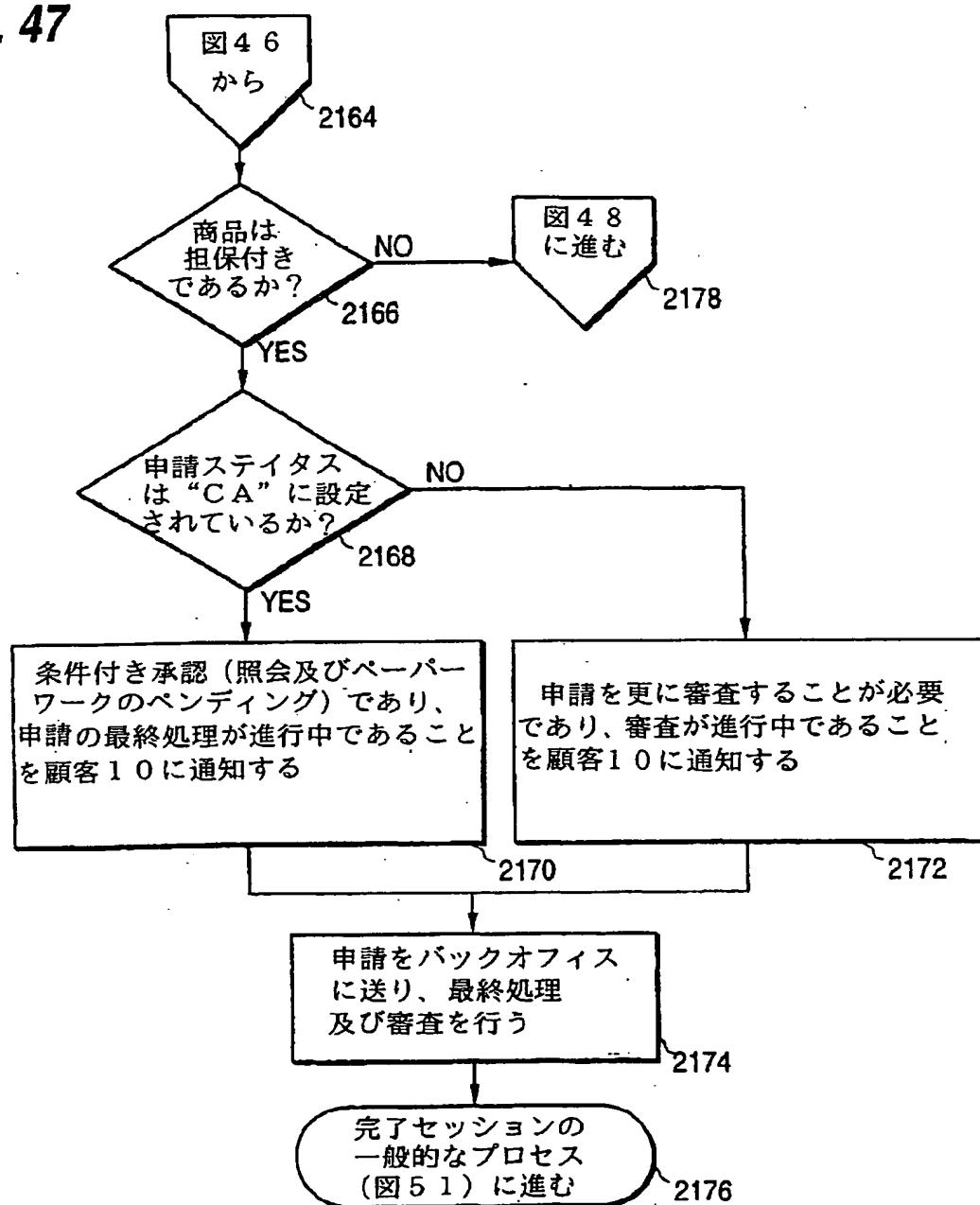
FIG. 45



【図46】

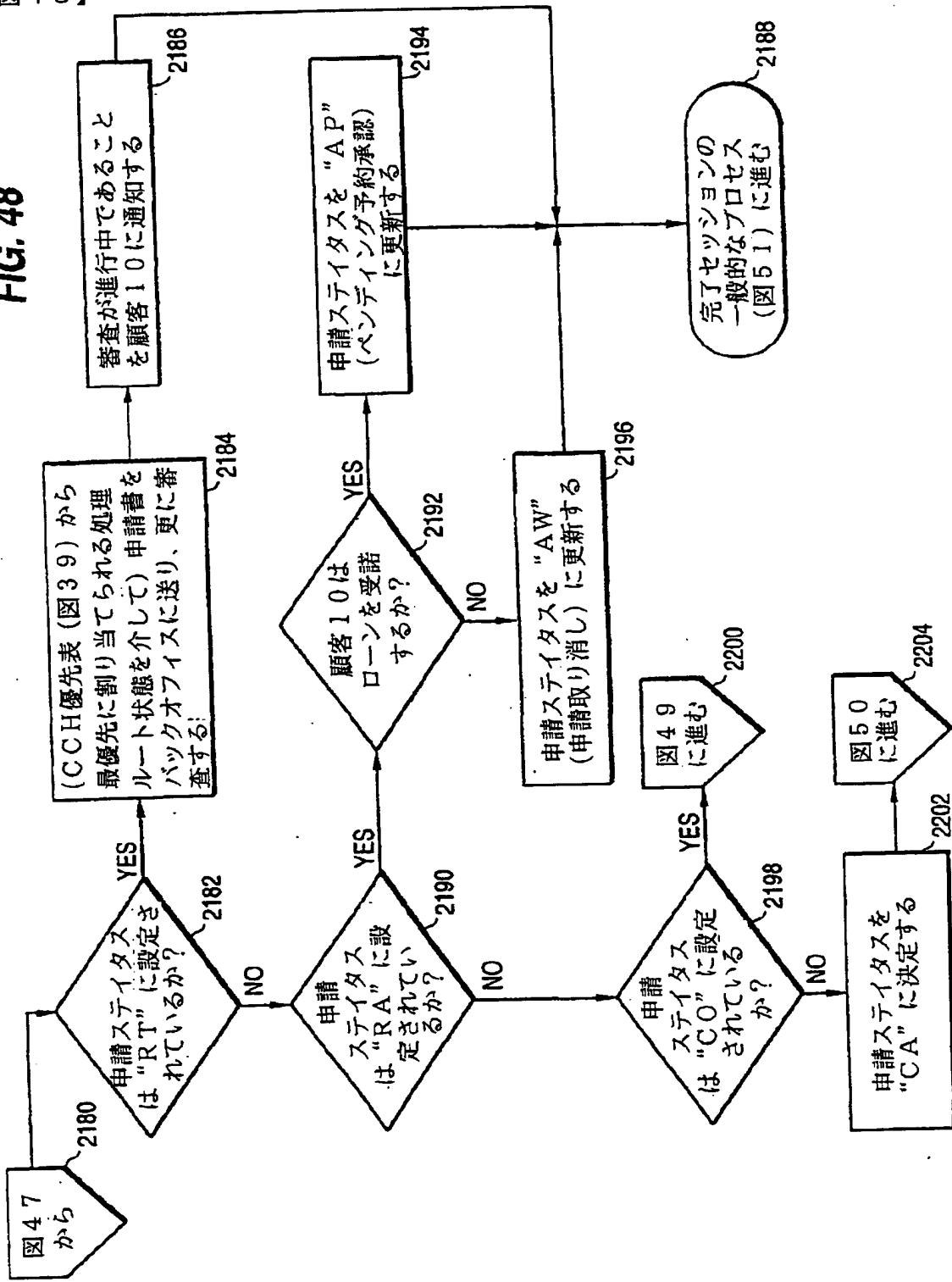


【図47】
FIG. 47



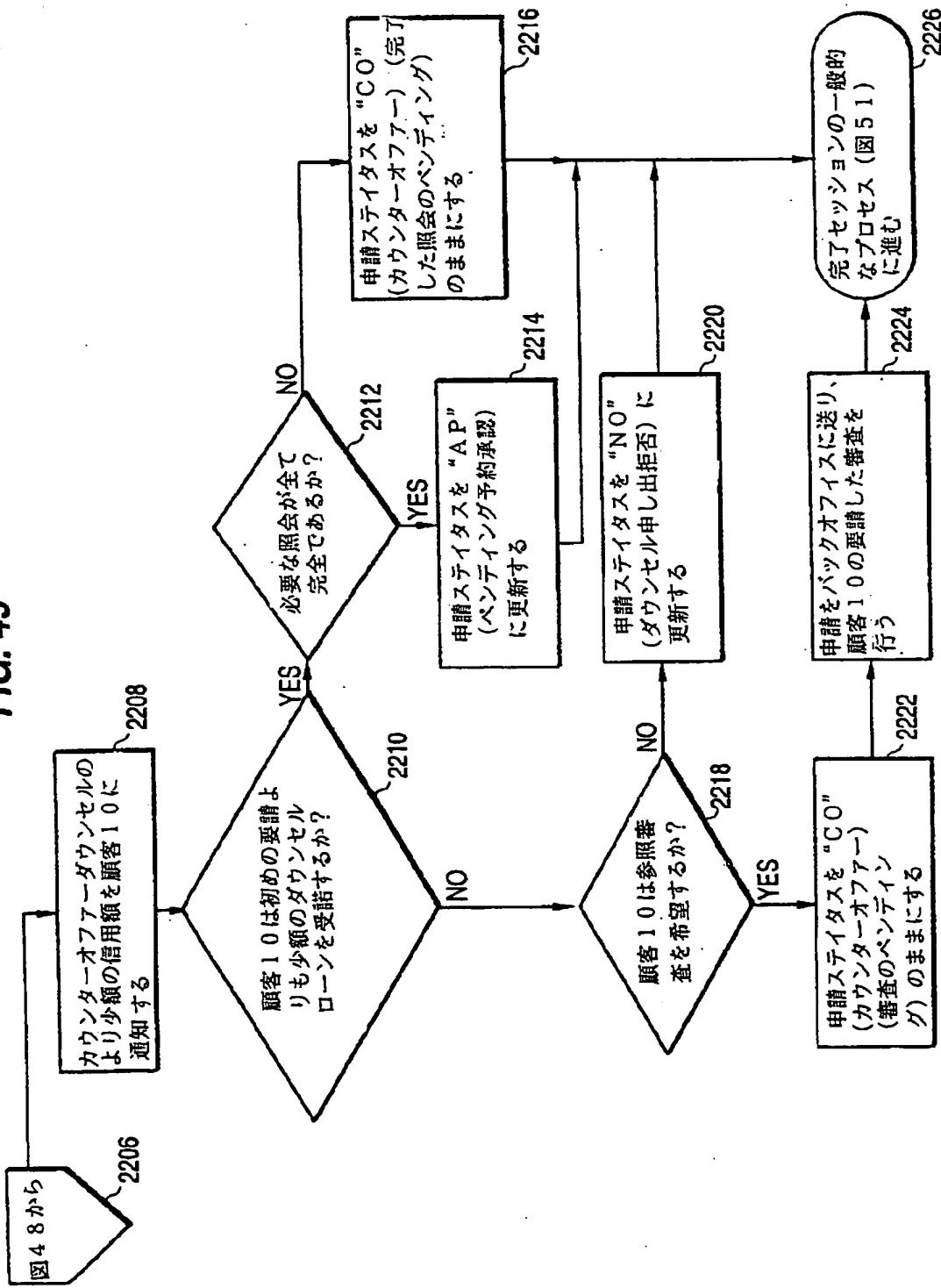
【図48】

FIG. 48



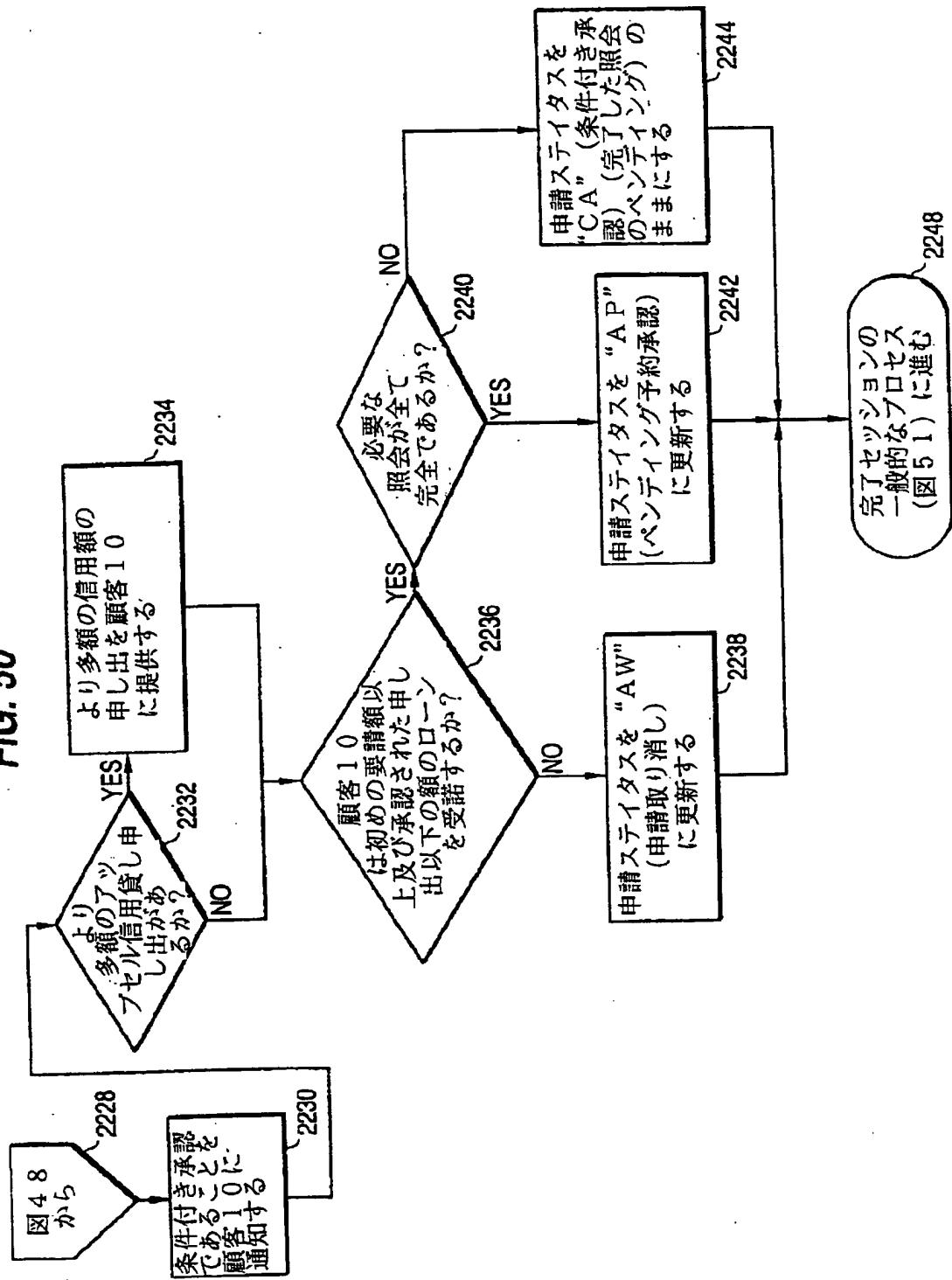
【図49】

FIG. 49



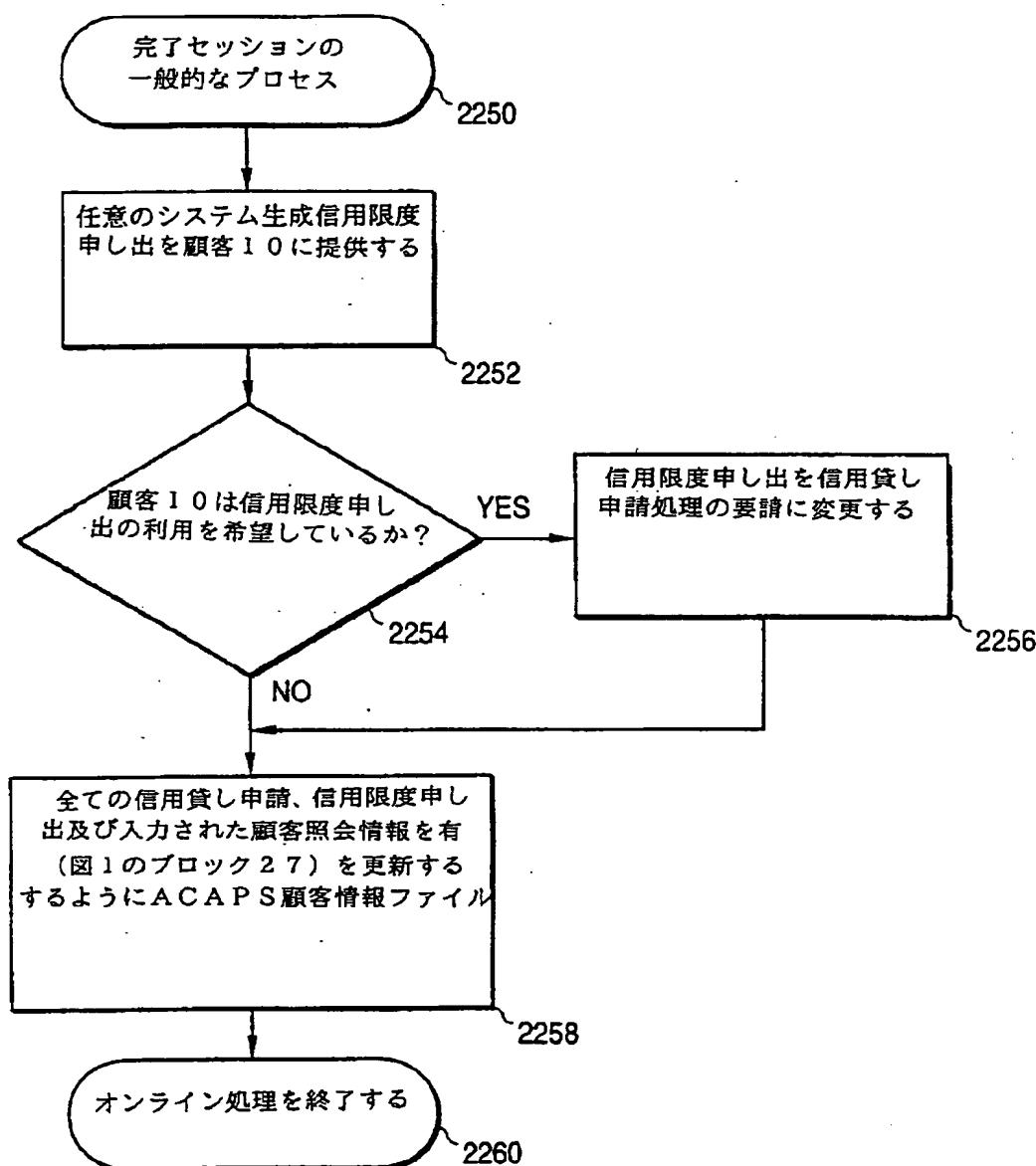
【図50】

FIG. 50



【図51】

FIG. 51



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No. PCT/US96/19228

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
IPC(6) :Please See Extra Sheet. US CL :395/238 According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) U.S. : 395/238		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) APS, DIALOG, MAYA		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 5,239,462 A (Jones et al.) 24 August 1993, abstract, figure 1, col. 1, lines 56-68, col. 2, lines 27-44.	1, 4, 5, 7, 9, 10, 11, 16, 17, 19
Y	On-Line System Approves Loans while Customer Waits; Communications News; V31, N9, PP: 27; 27 September 1994, especially first page, abstract, first paragraph, last paragraph.	1, 3, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 17, 18, 22, 24, 25
Y	Clancy, Gerry; Systems for Risk; Banker, v144, n822, p76(2), August 1994, especially page 3, lines 2-8.	2, 6, 7, 11, 23
Y	Rusnak, Raymond I.; Consumer credit-scoring: are there lessons for commercial lenders?; Journal of Commercial Lending; v76, n11, p37(6), July, 1994; especially page 2, lines 38-43.	2
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
<p>* Special categories of cited documents:</p> <ul style="list-style-type: none"> *A* document defining the general state of the art which is not considered to be part of particular relevance *B* earlier document published on or after the international filing date *L* document which may throw doubt on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *T* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed 		<p>"T" later documents published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention</p> <p>"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone</p> <p>"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art</p> <p>"A" document member of the same patent family</p>
Date of the actual completion of the international search 30 JANUARY 1997	Date of mailing of the international search report 28 FEB 1997	
Name and mailing address of the ISA/US Commissioner of Patents and Trademarks Box PCT Washington, D.C. 20231 Facsimile No. (703) 305-3230	Authorized officer Telephone No. (703) 305-9711	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/US96/19228

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Credit Applications being reviewed at front and back end for fraud detection; Credit Risk Management Report, v1, n6, 18 March 1991, especially page 1, lines 12-25; page 2, lines 15-38	4, 15, 16, 20, 21
Y	MortgageWare Resource Guide; Interling Software Corporation, Release 5.4d, November 1992, Chapter Qua, especially page Qua-3, Qua-9.	19
Y	Colossi, Dawn; Credit where credit is due; Financial Technology Review; v1, n4, p54(3), May 1994, Abstract.	1-25

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/US96/19228

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER:

IPC (6):

G06F 17/60; G06G 7/52

フロントページの続き

(81) 指定国 EP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, L
U, MC, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF
, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE,
SN, TD, TG), AP(KE, LS, MW, SD, S
Z, UG), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD
, RU, TJ, TM), AL, AM, AT, AU, AZ
, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CZ,
DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, HU, I
L, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LK
, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK,
MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, R
U, SD, SE, SG, SI, SK, TJ, TM, TR
, TT, UA, UG, UZ, VN

(72) 発明者 サスマン、ローレンス ジェイ。

アメリカ合衆国 10016 ニューヨーク州
ニューヨーク イースト サーティ一エ
イス ストリート 330 アパートメント
43キュー

(72) 発明者 メイア、モナ

アメリカ合衆国 60565 イリノイ州 ネ
イバービル ゴルフ ドライブ 1849

(72) 発明者 ディーン、チャールズ ジー. ジュニア.

アメリカ合衆国 60181 イリノイ州 ヴ
ィラ パーク ハーバード 435

(72) 発明者 セイブ、デニス

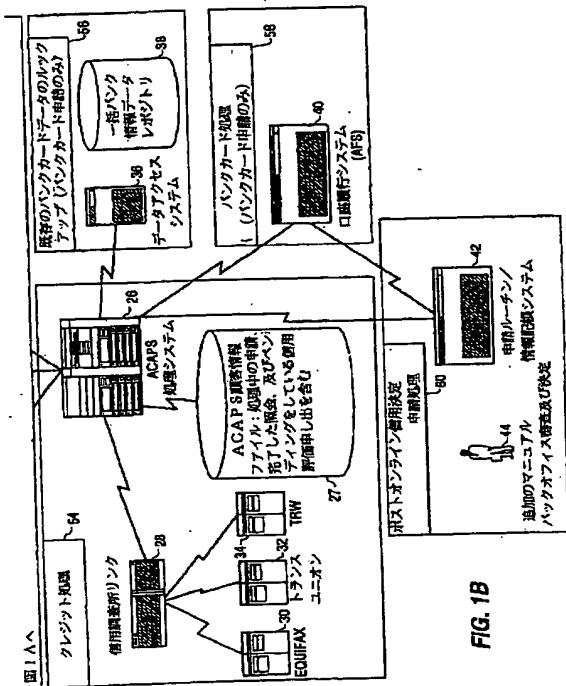
アメリカ合衆国 63376 ミズーリ州 セ
ント ピータース ウィアット ドライブ
596

(72) 発明者 マサイ、リチャード

アメリカ合衆国 27615 ノース カロラ
イナ州 ローリ ホワイト チャペル ウ
エイ 3712

【要約の続き】

商品、強化（階層プライシング）及びサービスを申請人
に申し出ることができる。信用貸し基準を越えた申請人
(10)に対して、本システムは特定のクレジット商品
を所定の信用限度申し出額で推薦することができる。同
じ申請人に対する処理が中断され、後日同じ又は異なる
LBR (12)によって継続され得る。



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)